

人吉市

子ども・子育て支援ニーズ調査

【結果報告書】

平成26年6月

人吉市

子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、その必要量を把握するためのニーズ調査と併せて昨年末に制定されました人吉市子ども・子育て基本条例に基づき、児童虐待・いじめ等の児童のおかれている状況について調査を実施しました。

2 調査概要

調査地域：人吉市全域

調査対象者：就学前・小学生保護者

調査期間：平成26年2月3日～2月17日

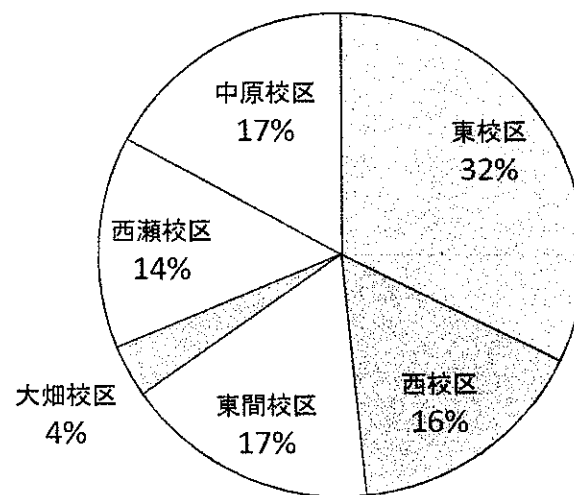
調査方法：郵送配布・郵送回答

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1, 158	463	39.98%
小学生児童保護者	1, 072	471	43.94%
合計	2, 230	934	41.88%

お住まいの地域についてうかがいます。

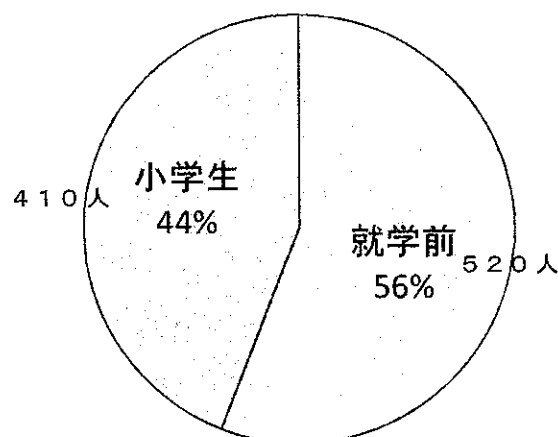
問1 回答者のお住まいの校区

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 東校区 | 2. 西校区 | 3. 東間校区 |
| 4. 大畑校区 | 5. 西瀬校区 | 6. 中原校区 |



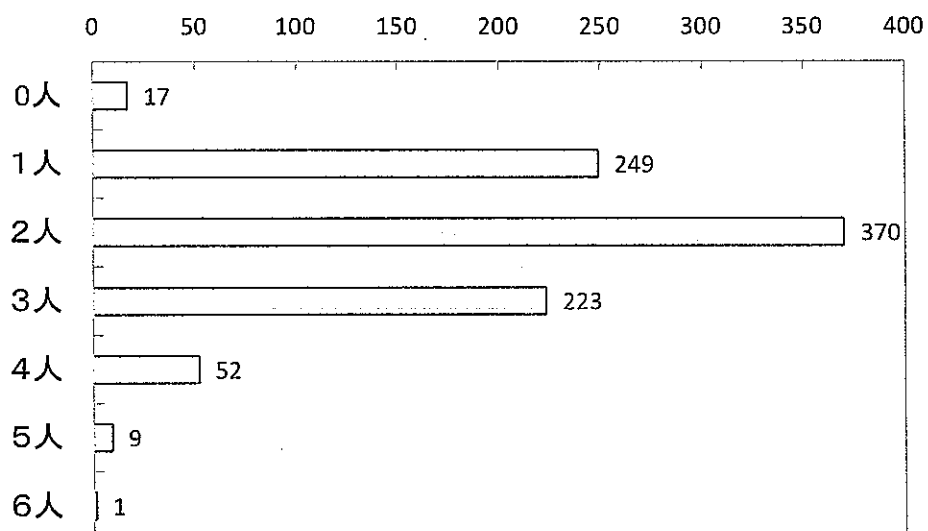
封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 就学前と就学後の割合



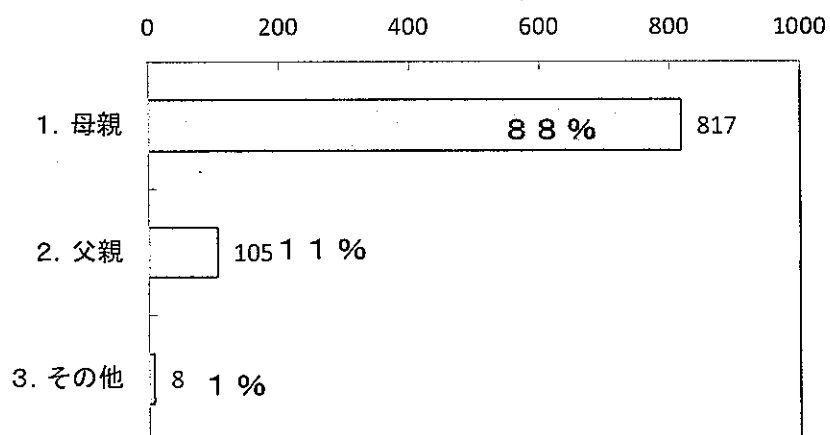
問3 兄弟の人数

兄弟の人数は、「2人」と答えた回答者が370人で最も多く、次いで「1人」となっています。



問4 調査票の記入者

記入者については、「母親」が約9割となっています。

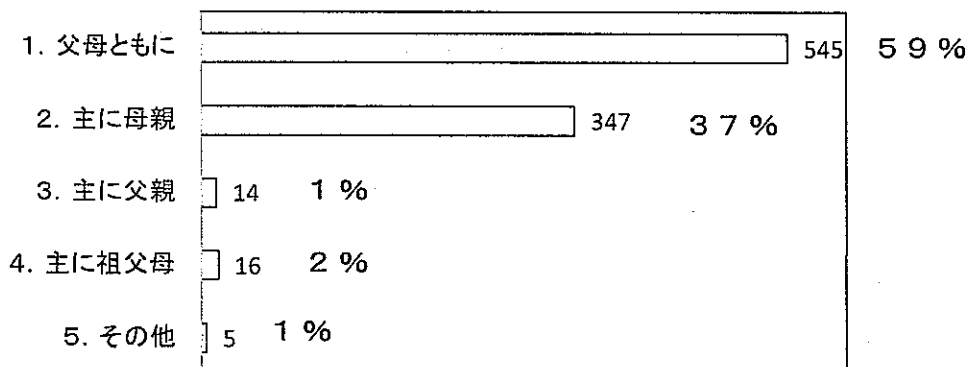


問5 調査票の記入者の配偶関係

配偶者がいる	85 %	788人	配偶者はいない	15 %	138人
--------	------	------	---------	------	------

問6 子育て（教育を含む）を主に行っている人の状況

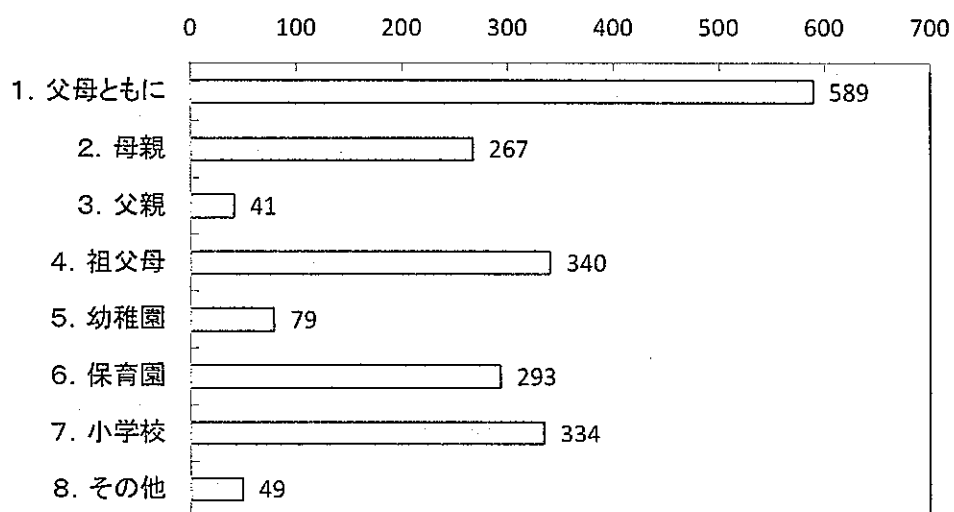
子育て（教育を含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が約6割であり、次いで「主に母親」が約4割となっています。



子どもの育ちをめぐり環境についてうかがいます。

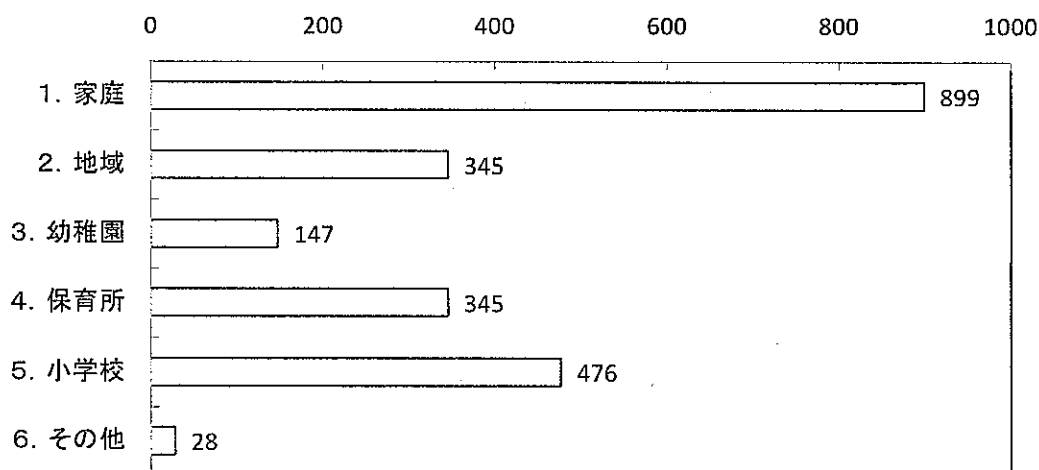
問7 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）の状況（複数回答）

子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）は、「父母ともに」が最も多く、次いで「祖父母」となっており、施設では、「小学校」が最も多く、次いで「保育園」となっています。



問8 子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境（複数回答）

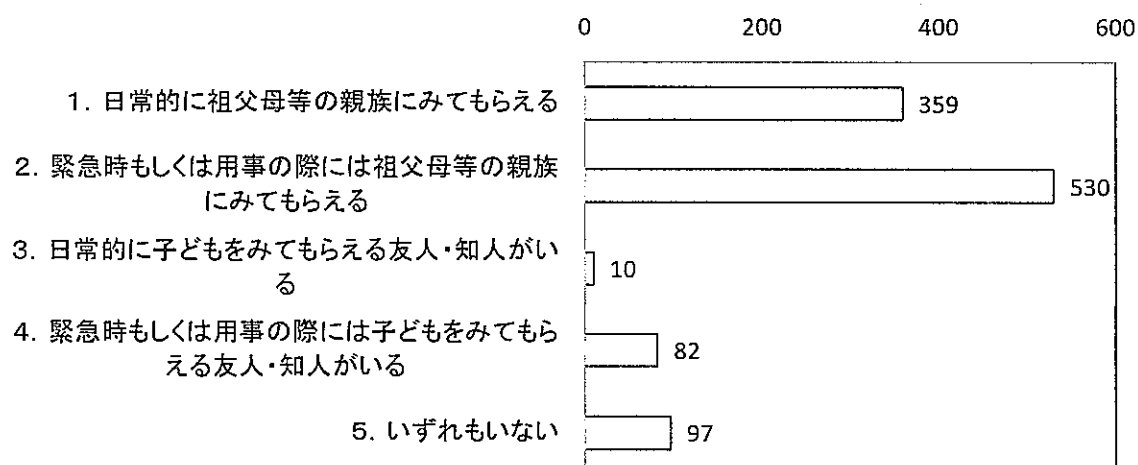
子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」と答えた人が最も多く、次いで「小学校」「地域」「保育所」となっています。



問9 お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（複数回答）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	⇒ 問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問10へ

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多い結果となっています。

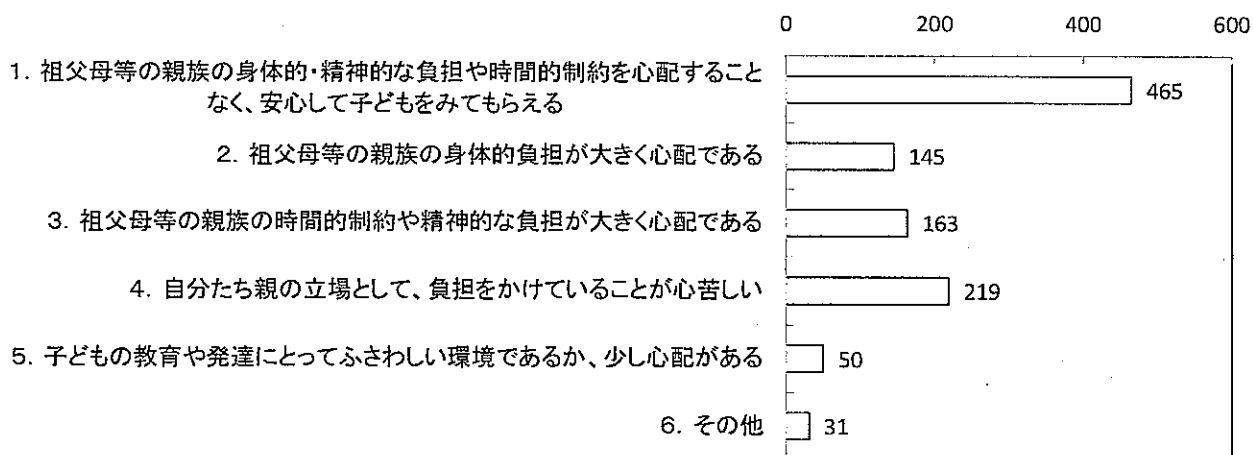


問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況。(複数回答)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他(

⇒ 問10へ)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」となっています。



問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況。(複数回答)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である

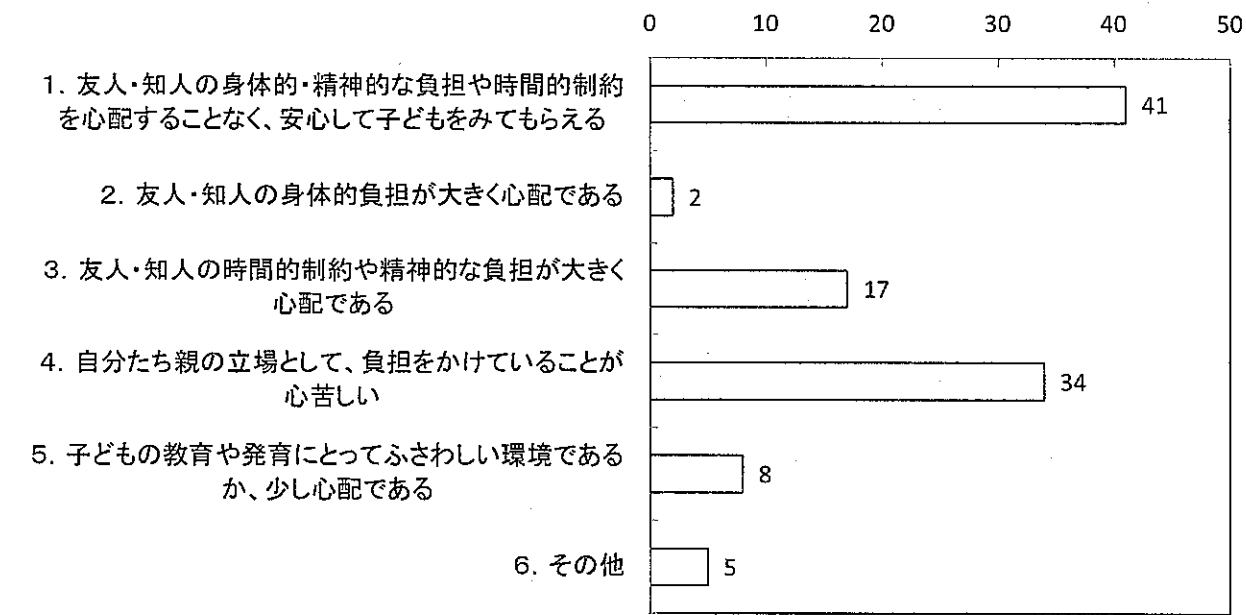
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある

6. その他()

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」となっています。



問10 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ

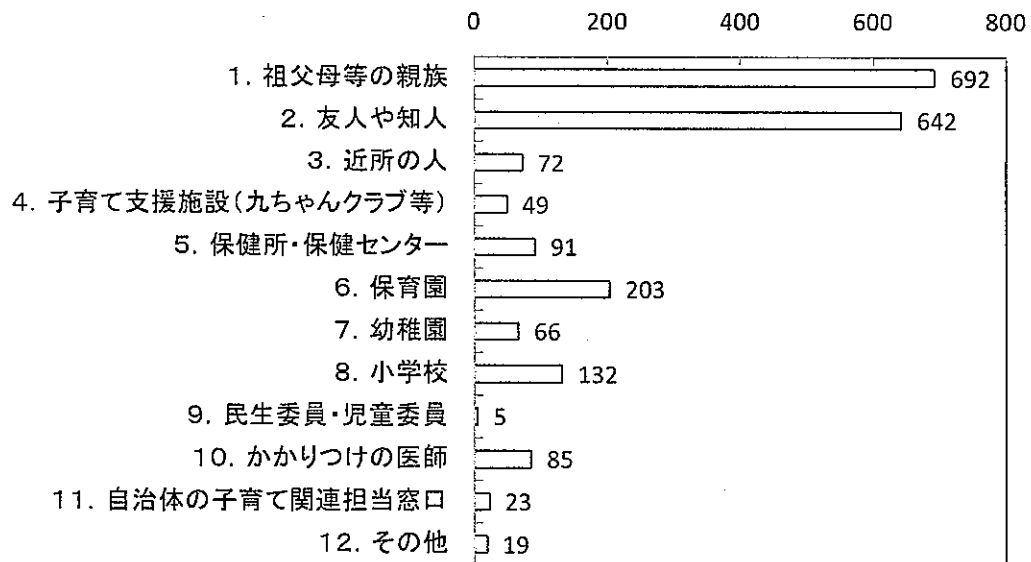
2. いない／ない ⇒ 問11へ

いる／ある 42人	95%	いない／ない 858人 5%
--------------	-----	----------------------

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（九ちゃんクラブ等）
5. 保健所・保健センター	6. 保育所
7. 幼稚園	8. 小学校
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 自治体の子育て関連担当窓口	11. その他（ ）

気軽に相談できる相手として、「祖父母等の親戚」が最も多く、次いで「友人や知人」となっています。



問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（自由意見）

- | |
|--------------------------------------|
| ・ 子育てに悩んだとき、困ったとき相談できる場所、雰囲気があれば嬉しい。 |
| ・ 気軽に育児相談できる窓口 |
| ・ 子どもの発達を相談できる病院 |
| ・ 病児病後児保育施設を増やしてほしい。 |
| ・ 児童館のような施設があればいい。 |
| ・ 子どもの遊び場の確保と安全対策。 |
| ・ 子育て仲間と知り合う場の提供。 |
| ・ 夜間保育の充実 |
| ・ 日祝日に預かってもらえる施設。 |
| ・ 小さな公園がほしい。 |
| ・ 学校で放課後教室を実現してほしい。 |
| ・ 女性の働きやすい職場、会社とは何でしょうか。 |
| ・ 父親の育児参加 |
| ・ 医療費を中学校3年生まで無料にしてほしい。 |
| ・ 保育料が高い。 |
| ・ 土曜学習（寺子屋）を各町内、公民館で開いてほしい。 |
| ・ 子育てに関する情報発信をしてほしい。 |

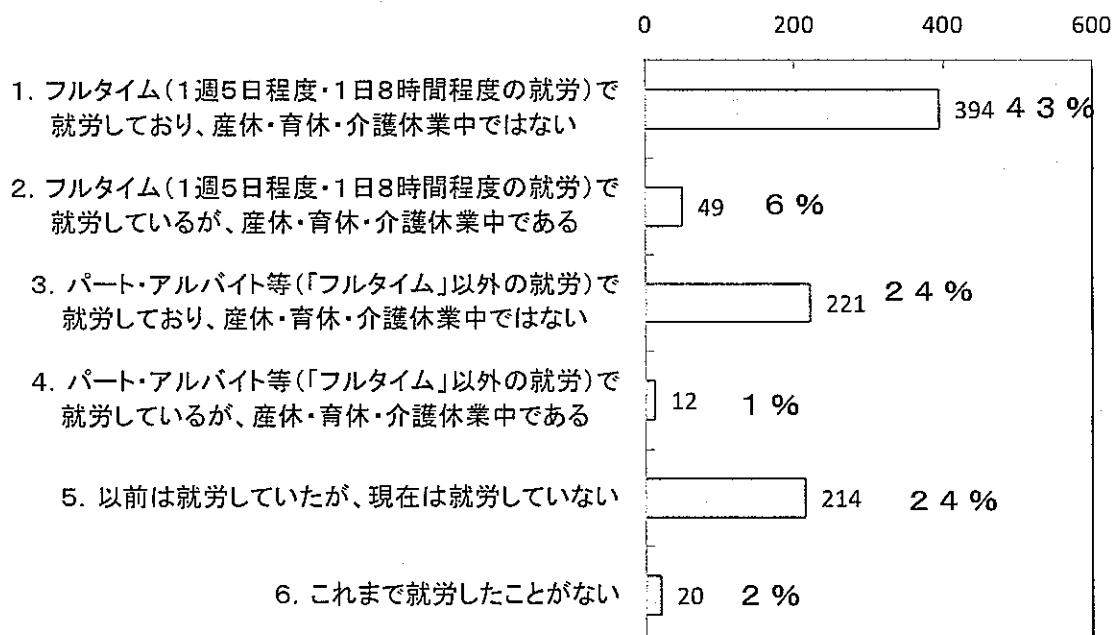
宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

母親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が43%となっており、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに24%となっています。

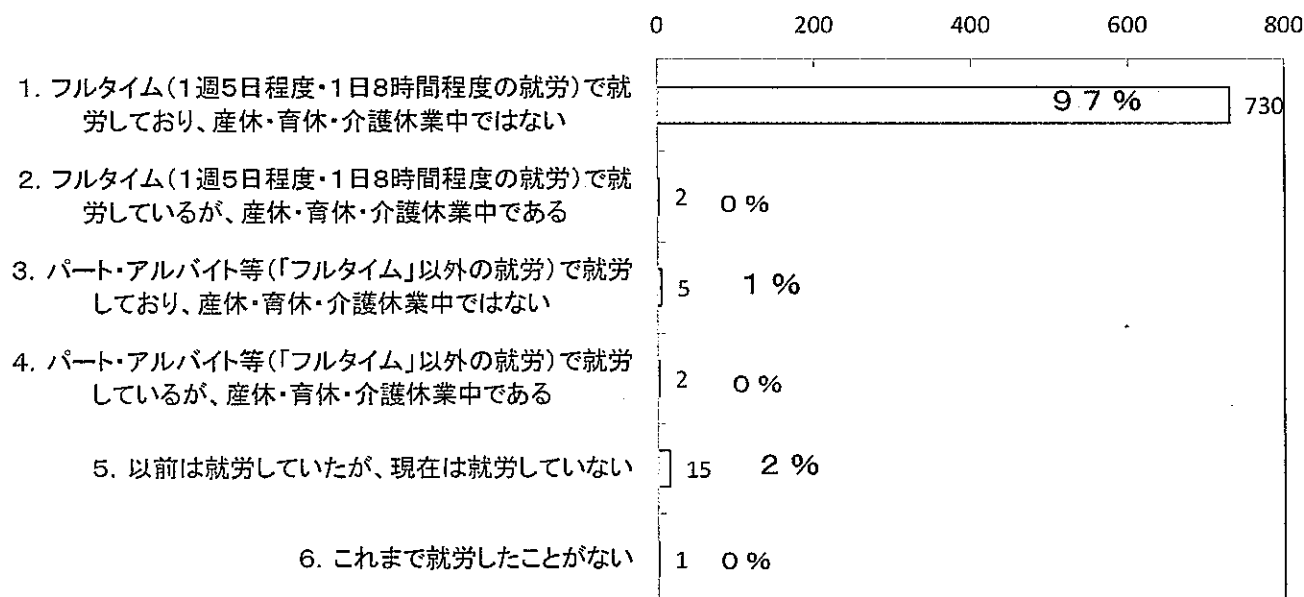


(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、
産休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、
産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、
産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、
産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

} ⇒ 問 14 へ

父親の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が97%となっています。

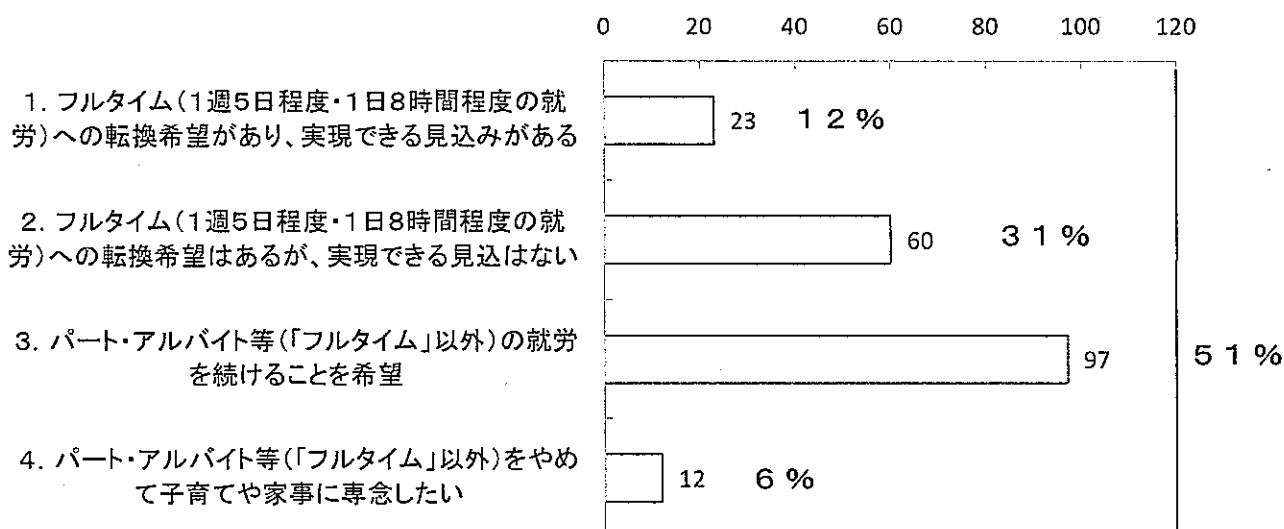


問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイトなどで就労している)に丸を付けた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

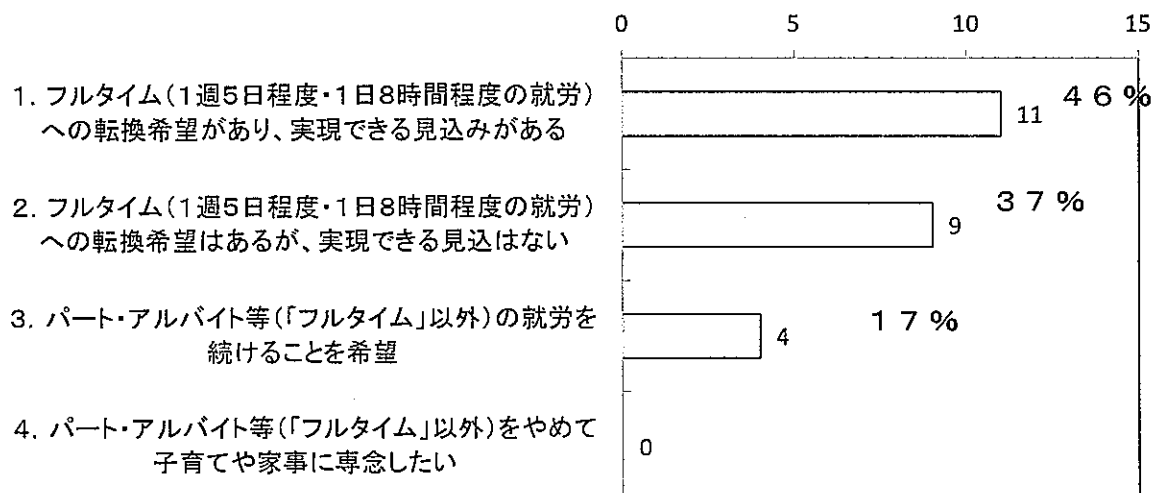
フルタイムへの転換希望は、母親では、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が50パーセントを超えています。



(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

父親のフルタイムへの転換希望では、「実現できる」が46パーセント、「希望はあるが実現の見込みはない」が37パーセントとなっています。



問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。

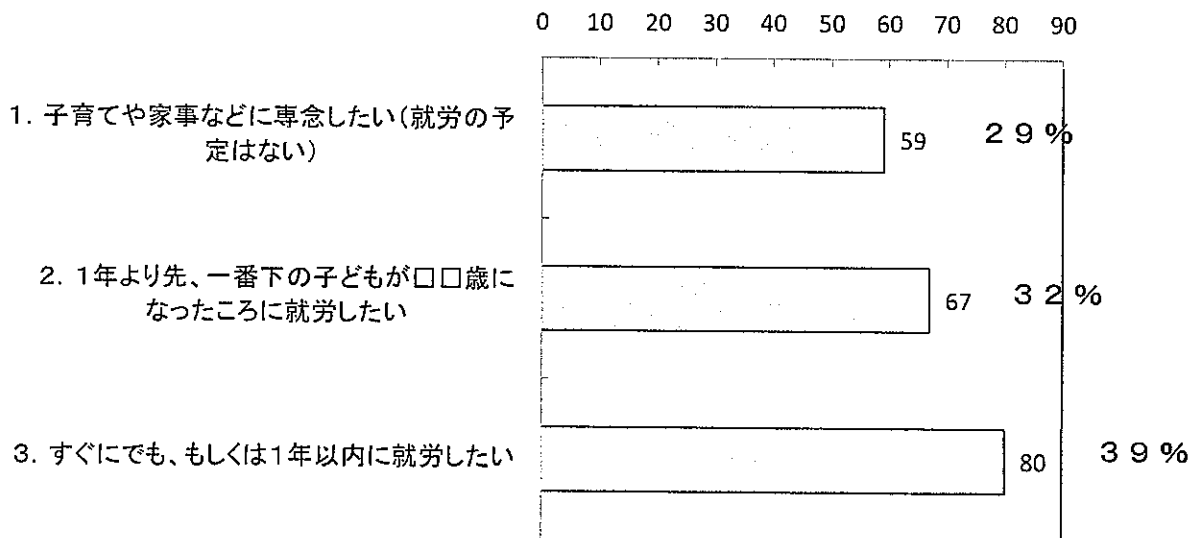
(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり □日 1日当たり □□時間

母親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39%となっています。



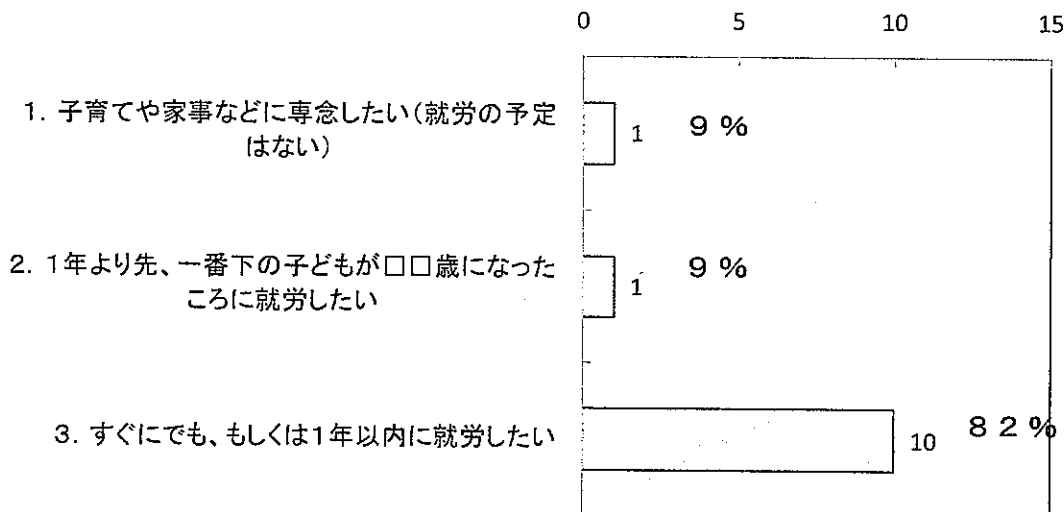
(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり □日 1日当たり □□時間

父親の約9%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっています。



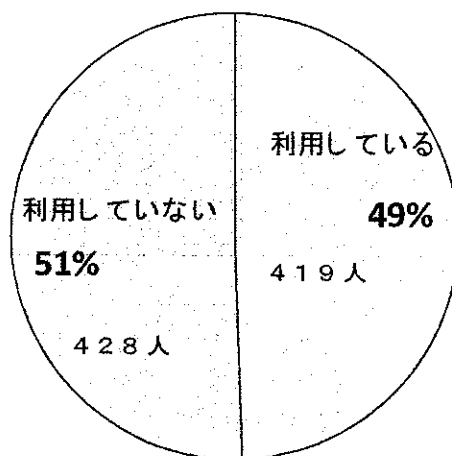
宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ

2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

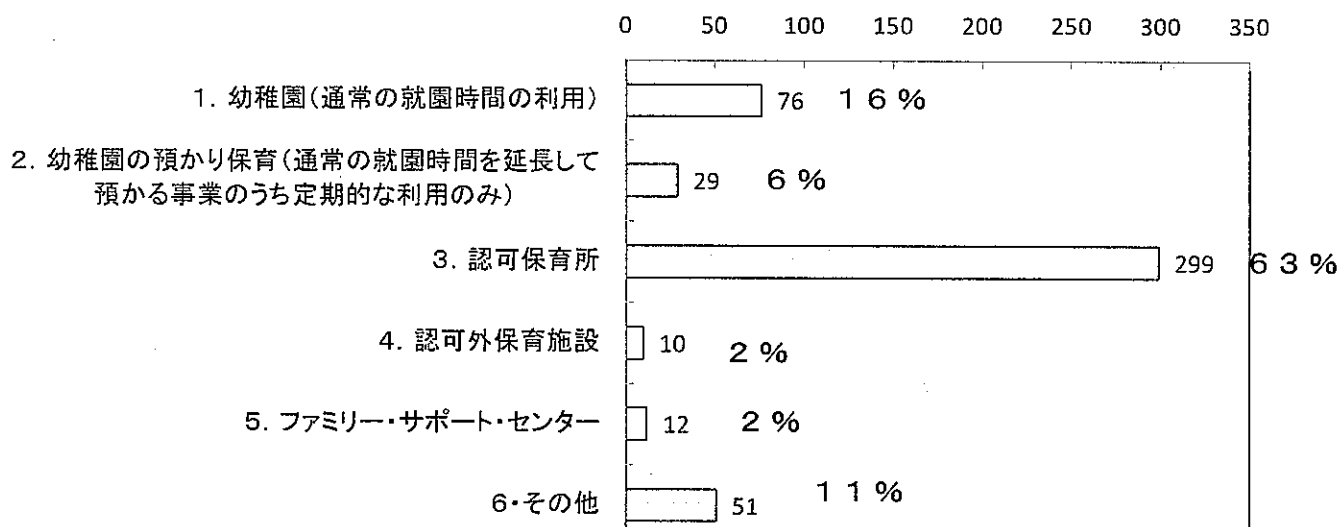


問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所 | 4. 認可外保育施設 |
| 5. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | 6. その他() |

利用している事業では、「認可保育所」が63%となっています。

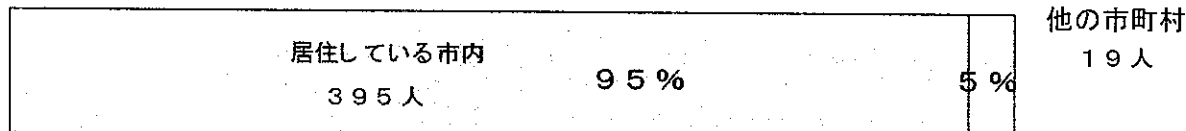


問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所の状況

1. 居住している市内

2. 他の市町村

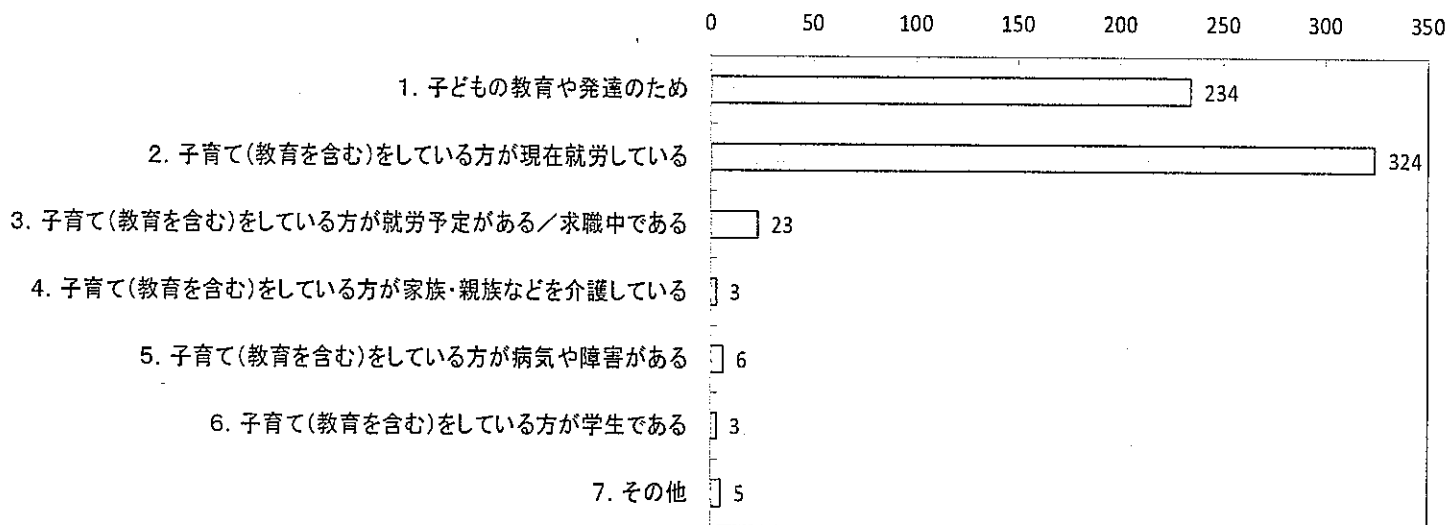
95%の人が「居住している市内」と答えています。



問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。(複数回答)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

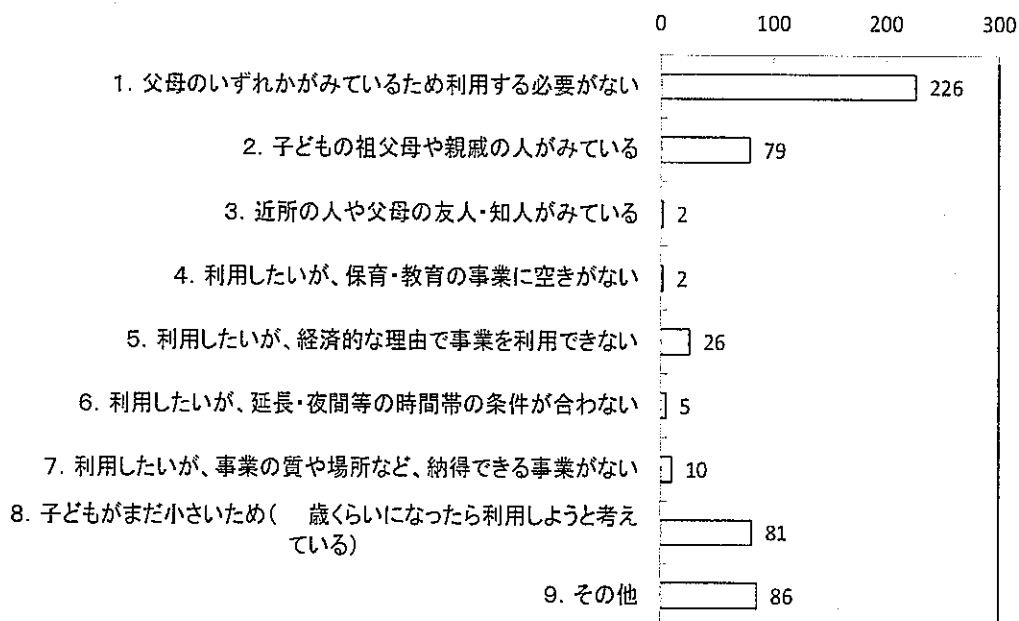
教育・保育の事業を利用する理由として「現在就労している」ためが最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」となっております。



問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。
(複数回答)

1. 父母のいずれかがみているため利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

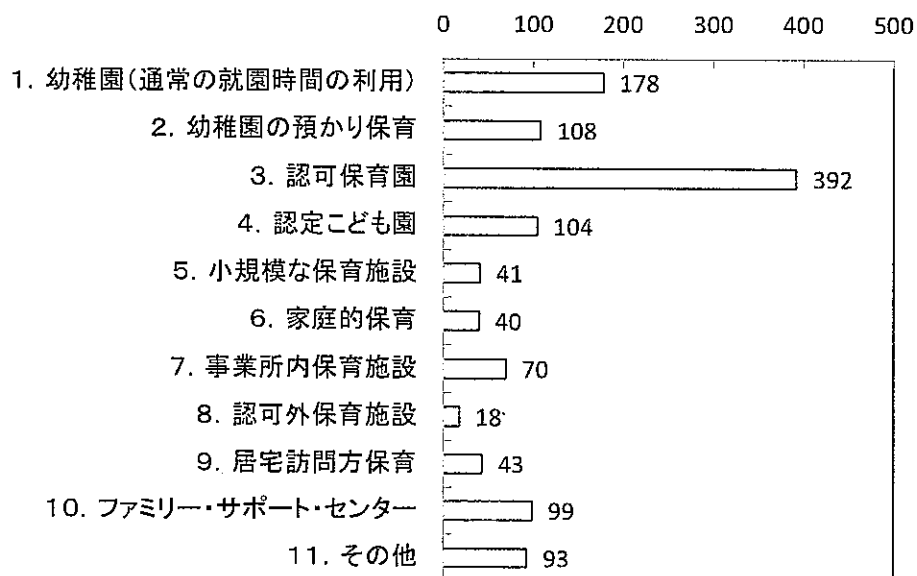
教育・保育の事業を利用しない理由としては、「父母のいずれかがみれる」が最も多く、次いで「祖父母や親戚がみれる」となっています。



問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|---|---|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち
定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所 | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村
の認可を受けた定員概ね6 ～19 人のもの) | 6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5 人以下
の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8. 認可外保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が
子どもの家庭で保育する事業) | 10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) |
| 11. その他() | |

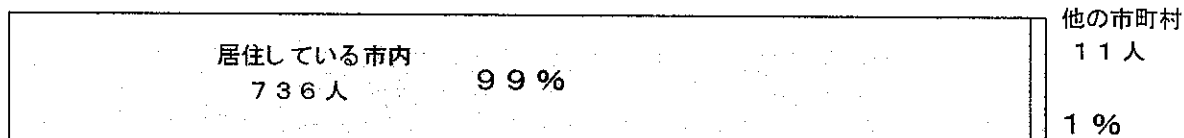
定期的に利用したいと考える事業として、「認可保育所」を選択した人が最も多く、次いで「幼稚園」となっています。



問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

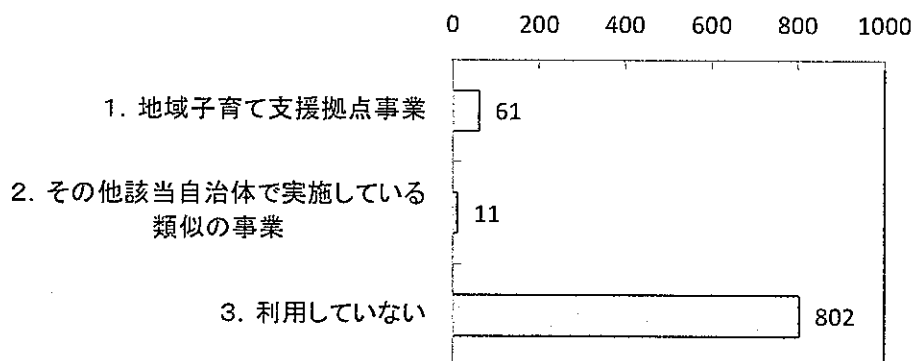
1. 居住している市内	2. 他の市町村
-------------	----------

「居住している市内」を選んだ人が99%となっています。

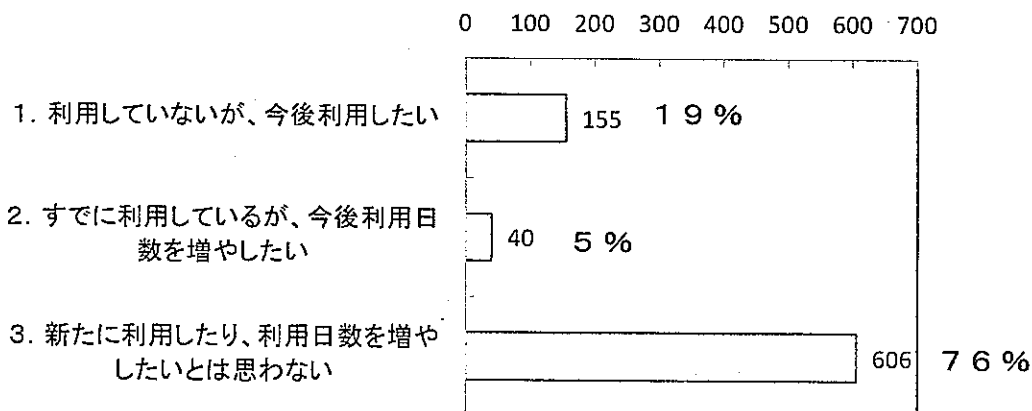


宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（複数回答）



問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。



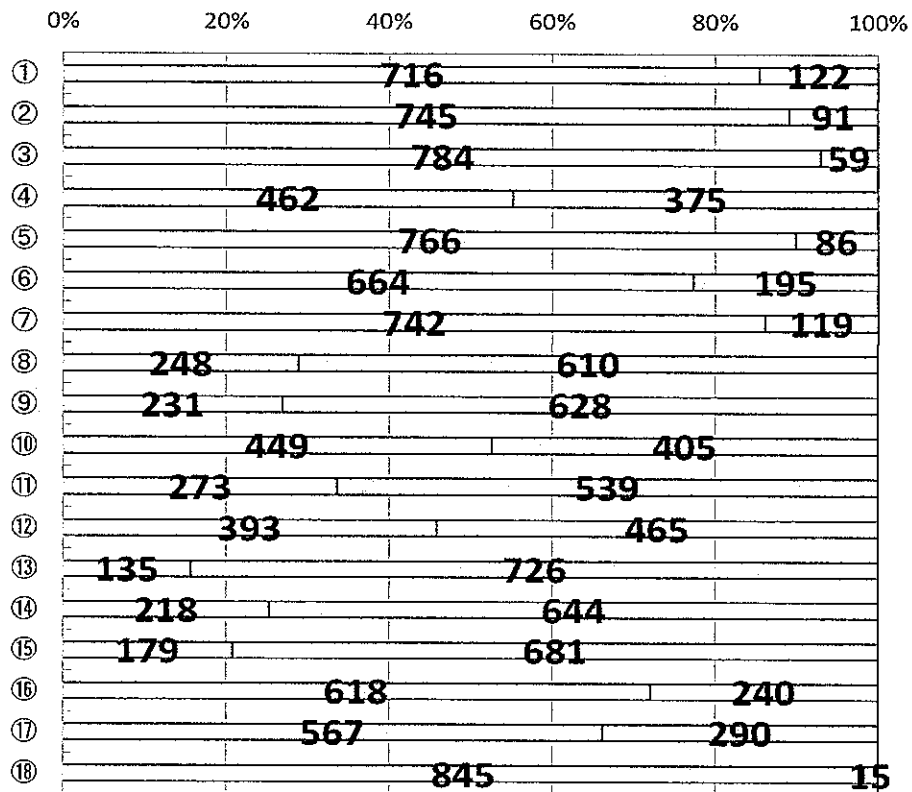
問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健師の育児訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③保健センターでの育児相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④家庭教育に関する講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤つどいの広場「九ちゃんクラブ」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥地域子育て支援センター「うお～む・はあと」	はい いいえ	はい いいえ	
⑦病児・病後児保育「あひるハウス」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧児童支援事業所「スイスイなかま」※1	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨児童発達支援事業所「パステール」※1	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩民生委員児童委員、主任児童委員	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪児童館(市内にはありません)	はい いいえ		はい いいえ
⑫ファミリーサポートセンターひとよし※2	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ブックスタート	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭家庭児童相談員による子育て相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮ふれあいサービス(社会福祉協議会)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯市のホームページ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰人吉市が発行している(子育て支援情報誌)子育てガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱市広報「ひとよし」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

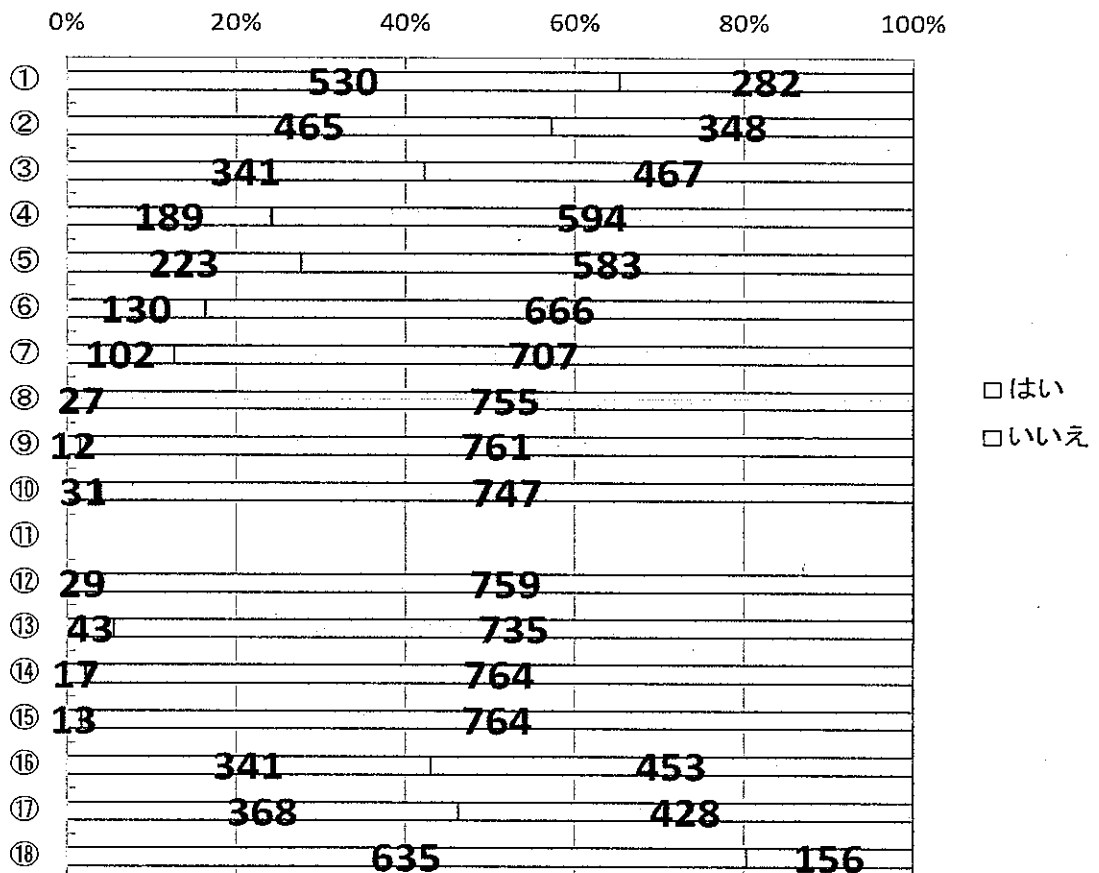
※1：障がい児等が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう指導及び訓練を行う事業所。

※2：地域において育児の手助けが必要な人と、手助けしたい人による相互援助活動を行う会員組織。

問19 A

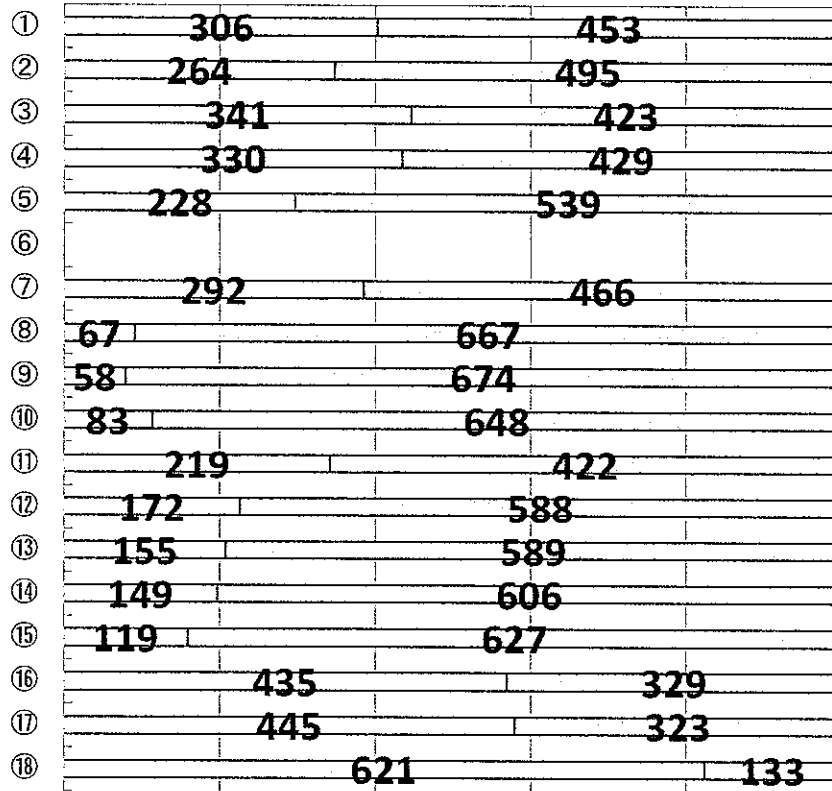


問19 B



問19 c

0% 20% 40% 60% 80% 100%



□はい
□いいえ

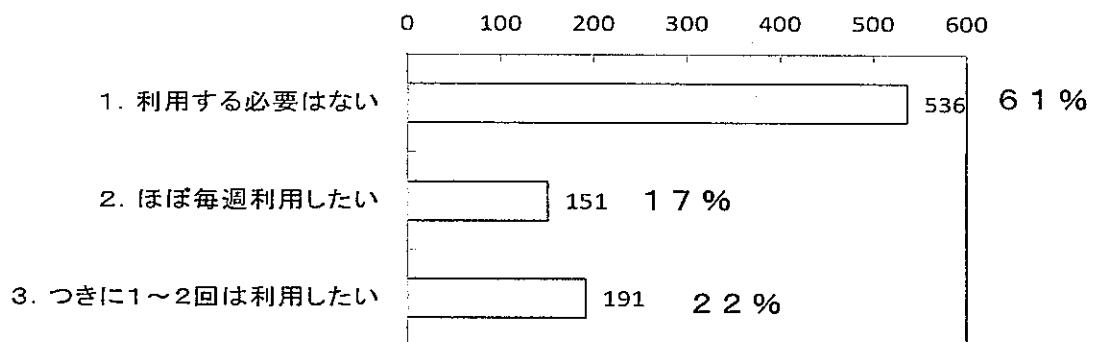
宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

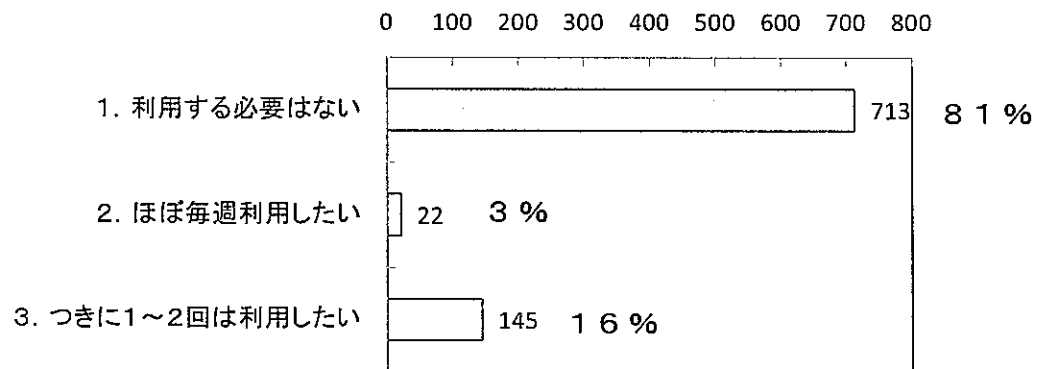
(1) 土曜日

土曜日の利用は、「必要ない」が61%になっています。



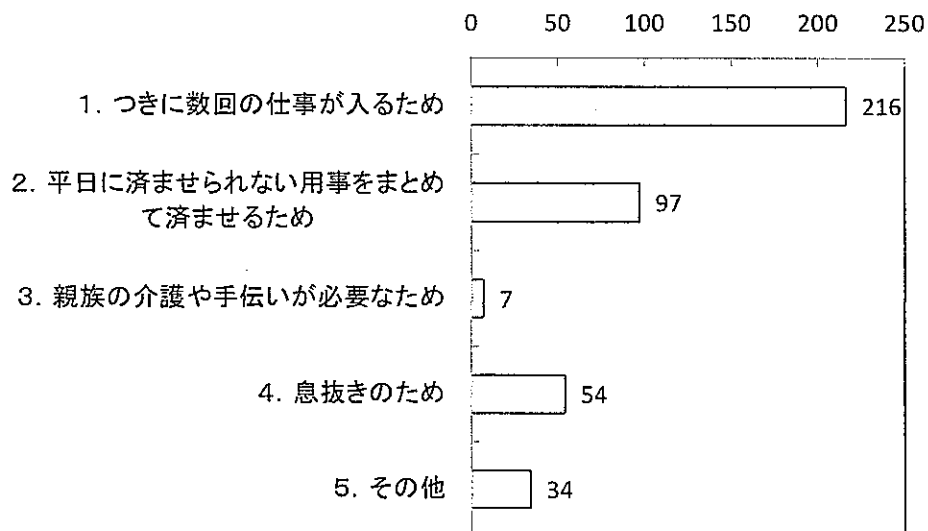
(2) 日曜・祝日

日曜・祝日は、「必要ない」が81%になっています。



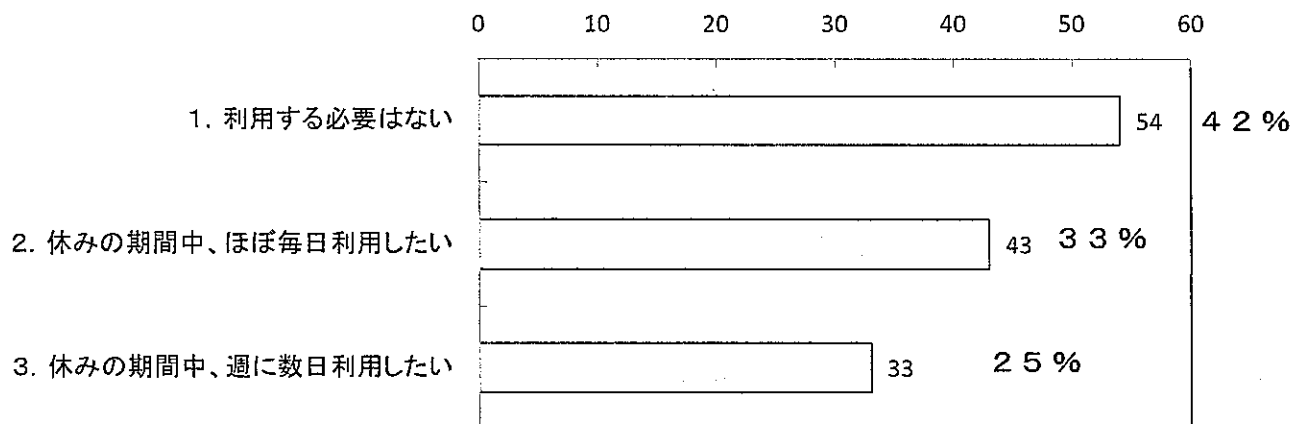
問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も多くなっています。



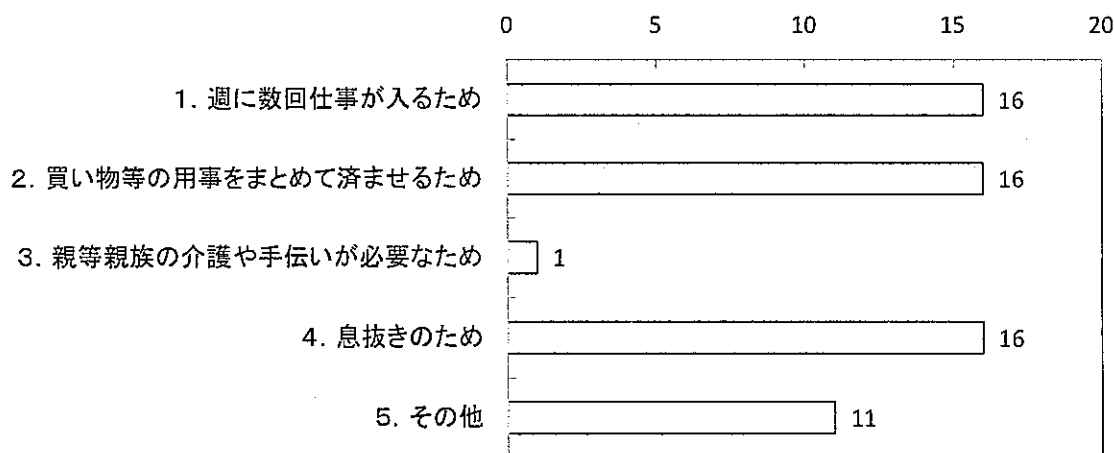
問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、「必要ない」が42%最も多く、「ほぼ毎日利用したい」が33%となっています。



問21-1 問21で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

利用したい理由は、「週に数回仕事が入る」と「買い物等の用事を済ませるため」、「息抜きのため」が同数となっています。



宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃる方は、問23にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1 へ 2. なかった ⇒ 問 23 へ

あった 354人	78%	なかった 100人 22%
-------------	-----	---------------------

問22-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他()	□□ 日

※「キ.ファミリー・サポート・センター」は、「病後児のみ対応」による利用も含まれます。

→ 問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当
てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一
字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかか
りつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがい
ます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

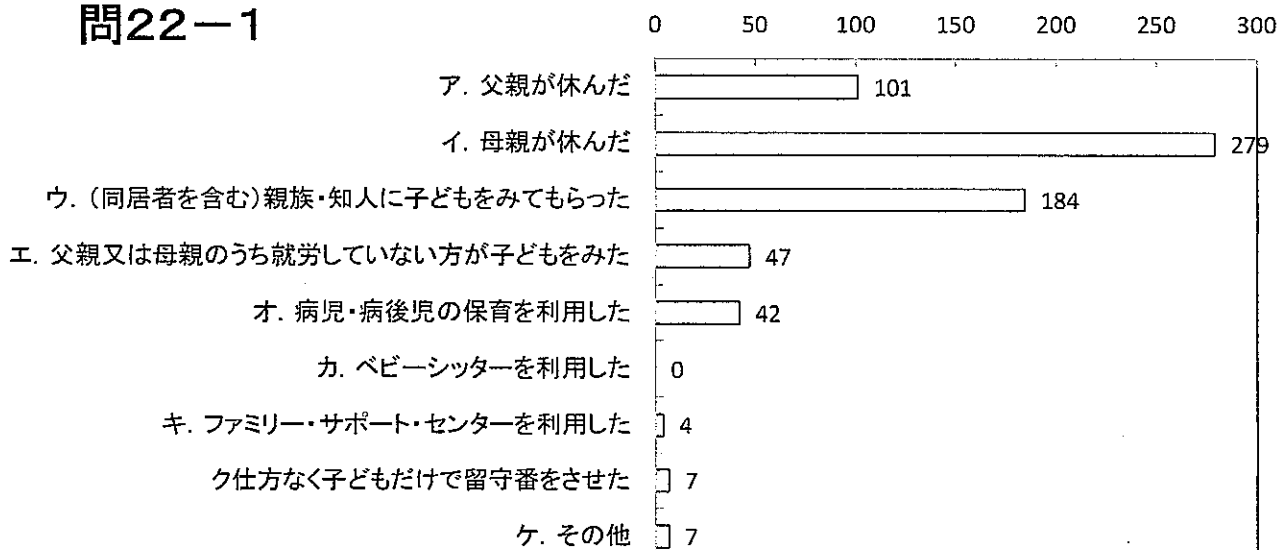
1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒問23へ

⇒問22-5へ

病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行っ
た対処方法として、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「親戚・知人」となっています。

問22-1



問22-2

できれば
病児・病後児保育施
設等を

利用したい

38 %

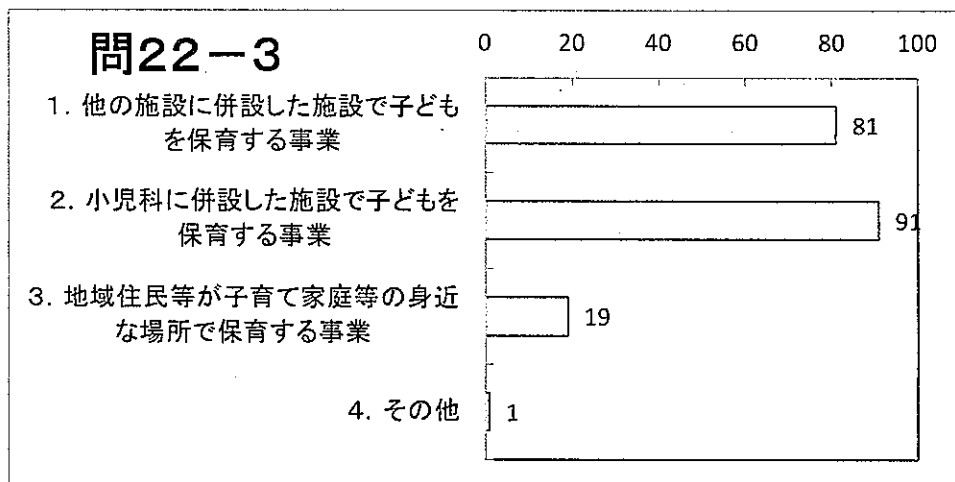
116人

利用したいとは
思わない

62 %

186人

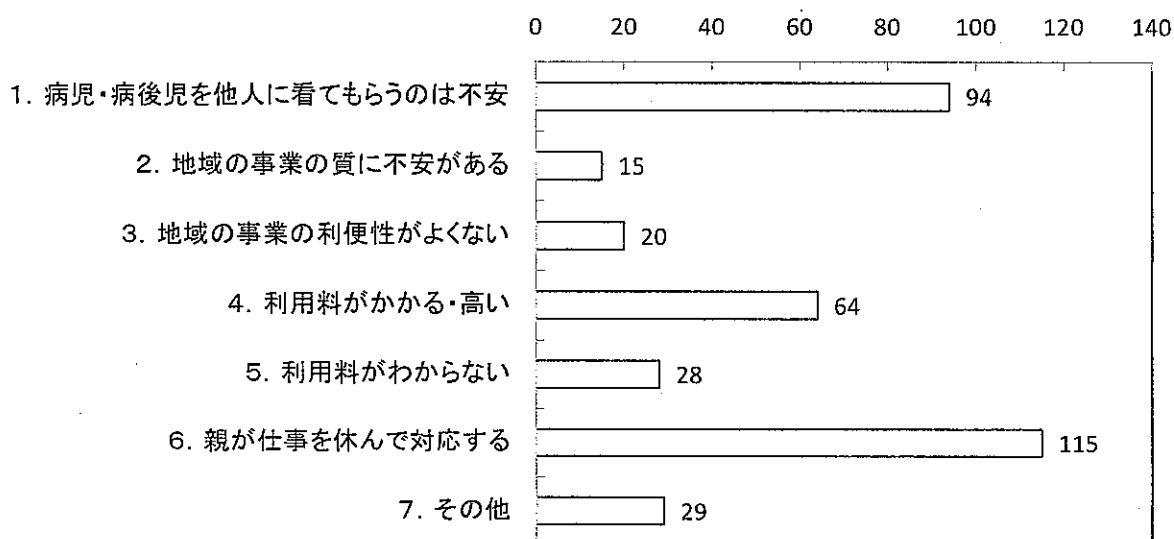
病児病後児保育施設を利用したいと答えた人の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設」となっています。



問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由。
(複数回答)

利用しない理由として、「親が仕事を休む」が最も多く、次いで「他人に看てもらうのが不安」となっています。

⇒ 問 23 へ



問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

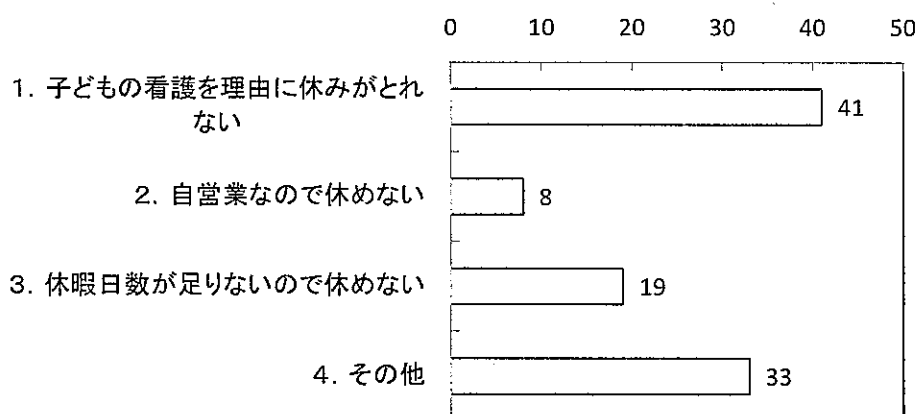
問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

「できれば仕事を休んで看たい」が63%となっています。

できれば仕事を休んで看たい 139人	63%	休んで看ることは非常に 難しい 80人	37%
-----------------------	-----	---------------------------	-----

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多くなっています。



宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

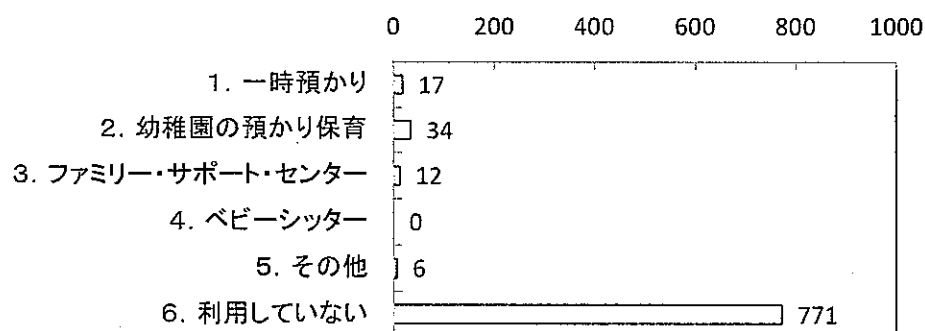
問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号す
べてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁
に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち 不定期に利用する場合のみ）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□ 日
4. ベビーシッター	□□ 日
5. その他（ ）	□□ 日
6. 利用していない	

⇒問24へ

「利用していない」という回答が最も多くなっています。

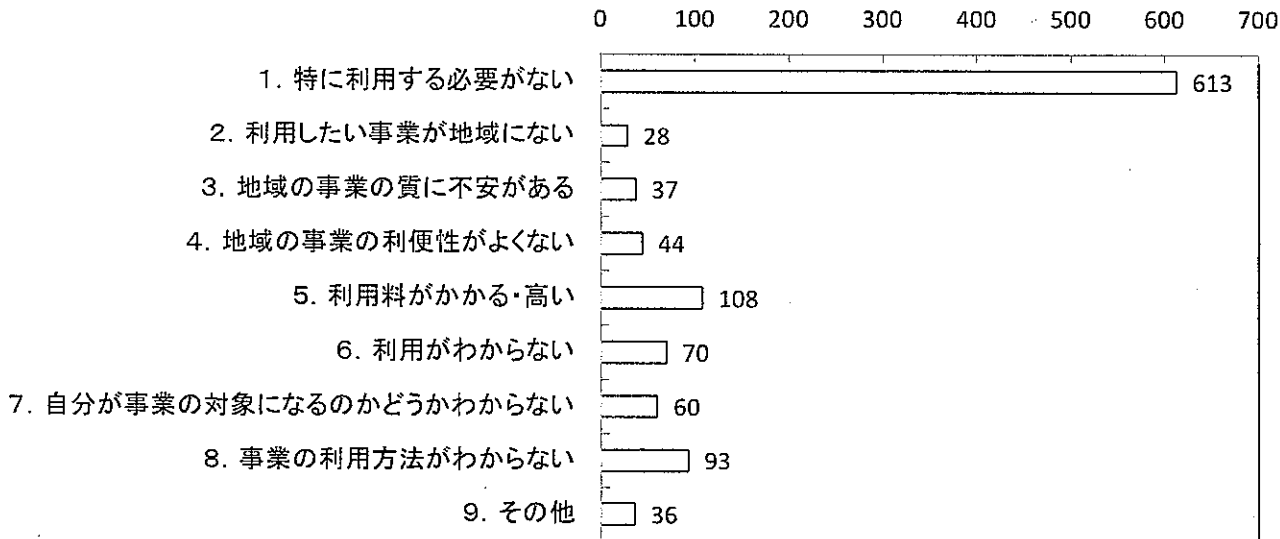
問23



問23で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」となっています。



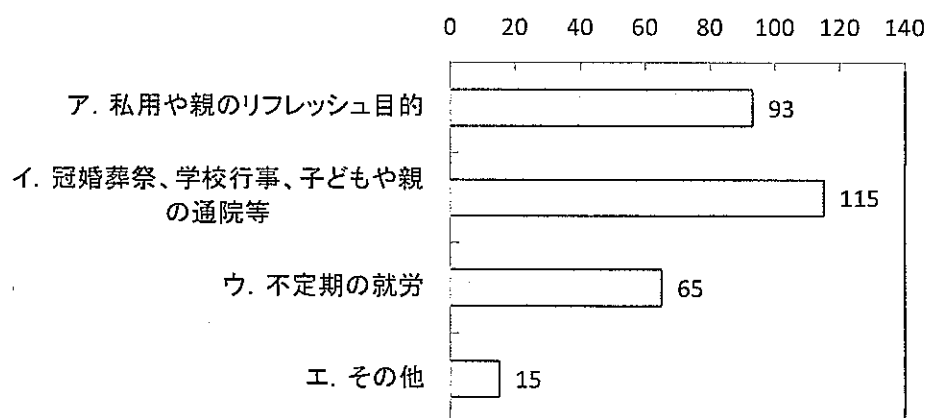
問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問24-1へ

1. 利用したい		計 □□ 日
ア.	私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□□ 日
イ.	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	□□ 日
ウ.	不定期の就労	□□ 日
エ.	その他()	□□ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ		

利用したい 192人 25%	利用する必要はない 562人 75%
-------------------	-----------------------

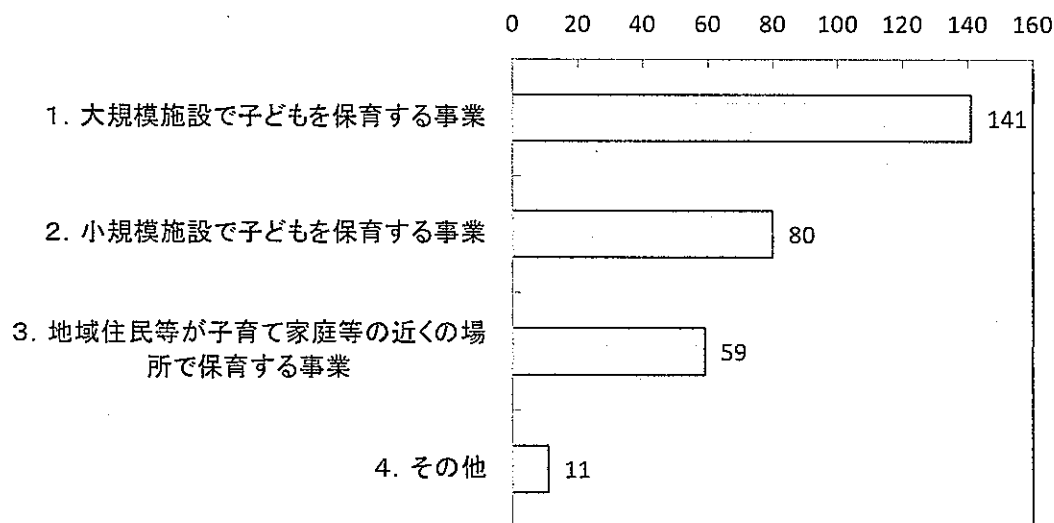
利用したい理由は、「冠婚葬祭等」が最も多く、次いで「私用や親のリフレッシュ目的」となっています。



問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例: 幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例: 地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

「大規模施設で子どもを保育する事業(例: 幼稚園・保育所等)」が最も多くなっています。



問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

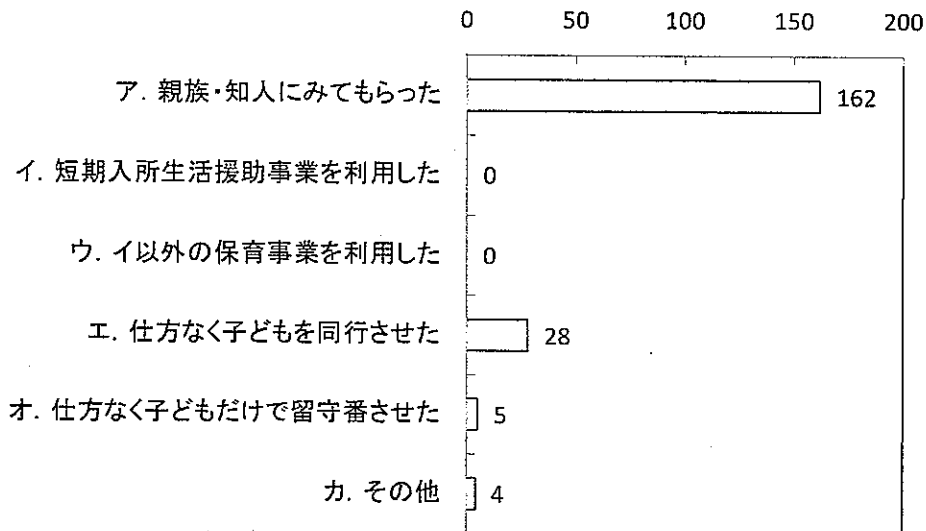
	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□□ 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他()	□□ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

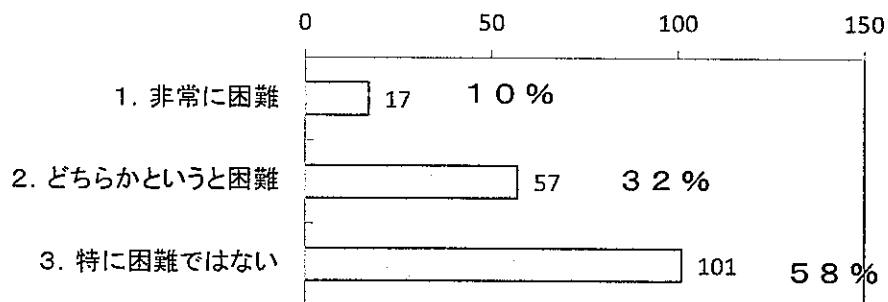
あった 186人	23%	なかった 637人	77%
-------------	-----	--------------	-----

ほとんどの人が「親族・知人にみてもらった」と答えています。



問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

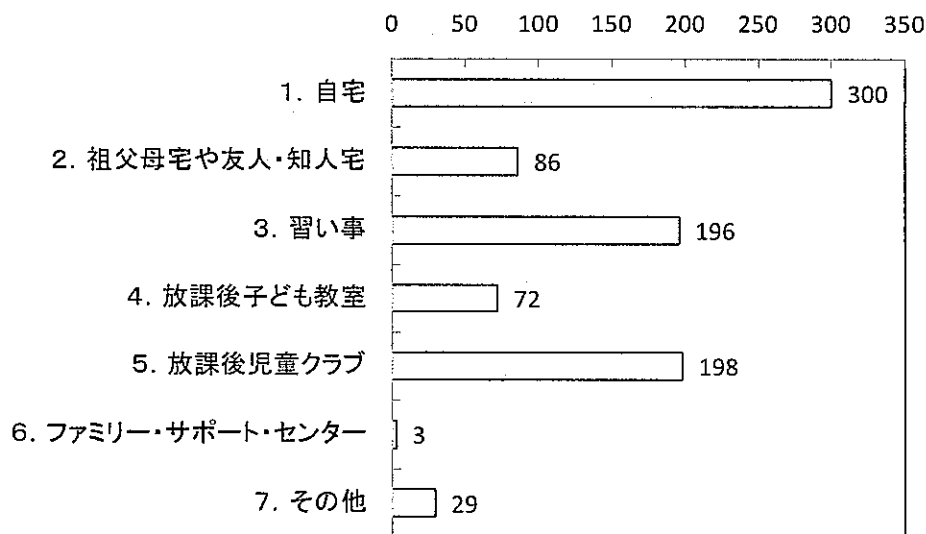
「非常に困難」と「どちらかという困難」をあわせると42%となり、半数近くの人が困難な状況にあります。



宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

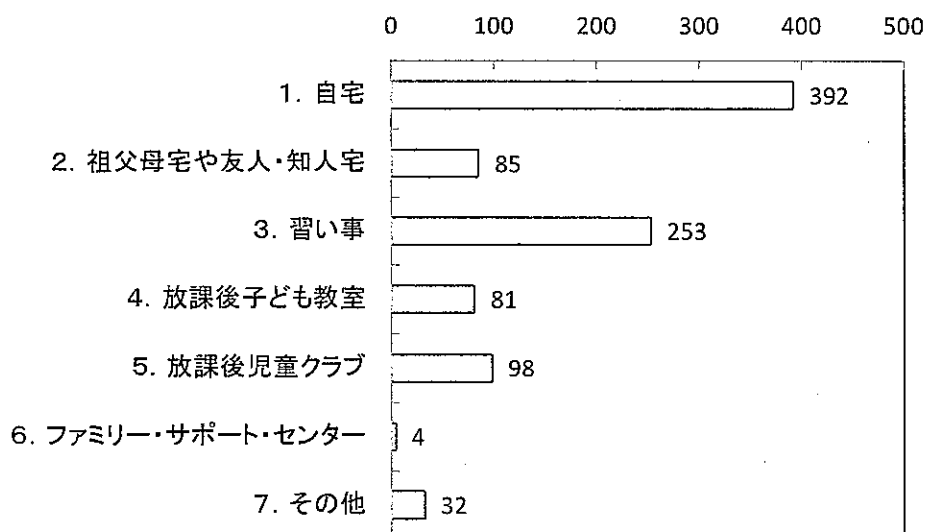
問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

放課後過ごさせたい場所として、「自宅」が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」「習い事」となっています。



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

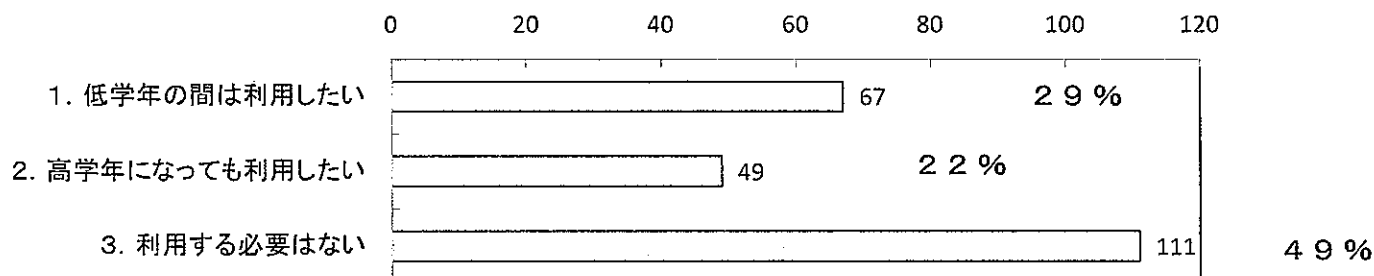
放課後過ごさせたい場所として、「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっています。



問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

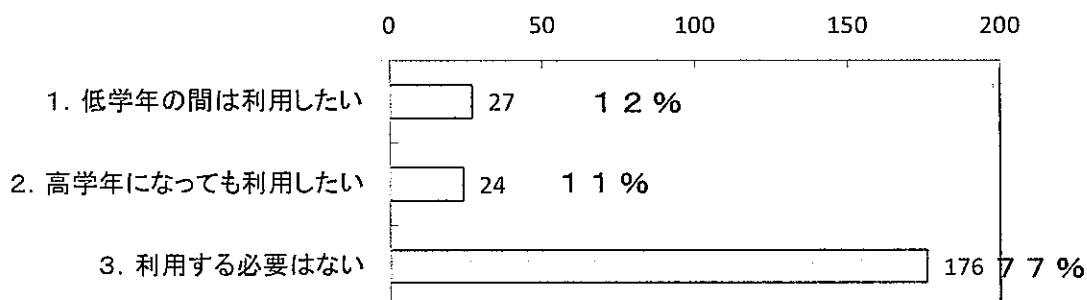
(1) 土曜日

「利用する必要がない」が最も多いですが、「低学年の間は利用したい」を選んだ人も29%いました。



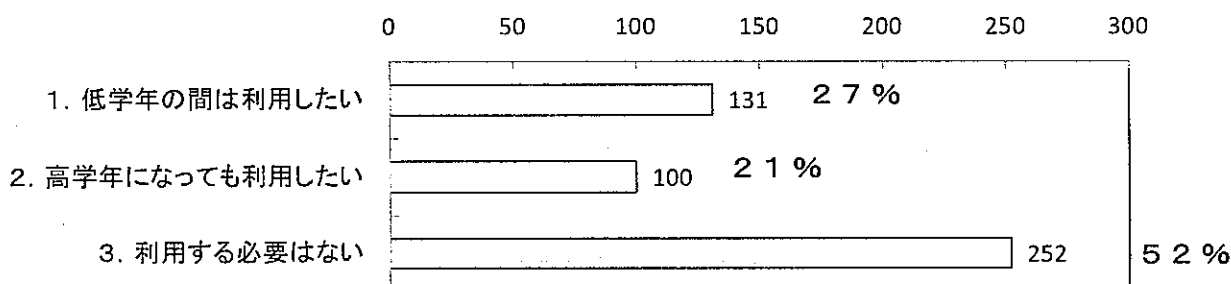
(2) 日曜・祝日

「利用する必要がない」が77%となっています。



問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要ない」と52%の人が答えています。「利用したい」も低学年と高学年を合わせると48%という結果が出ています。



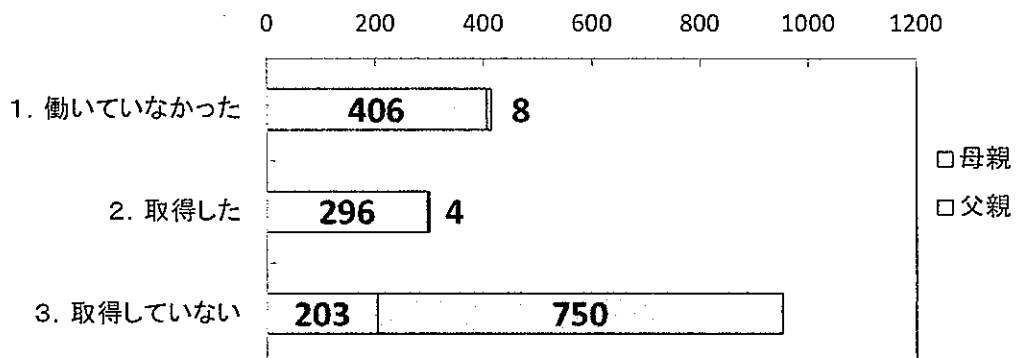
すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

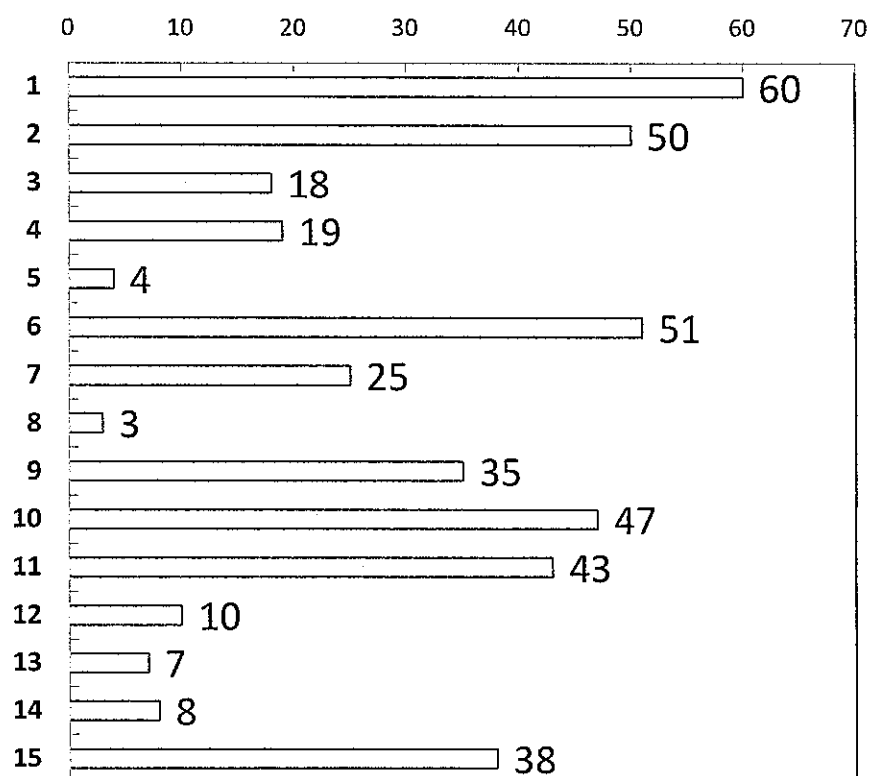
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入く
ださい（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を 選んでご記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を 選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
- 3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

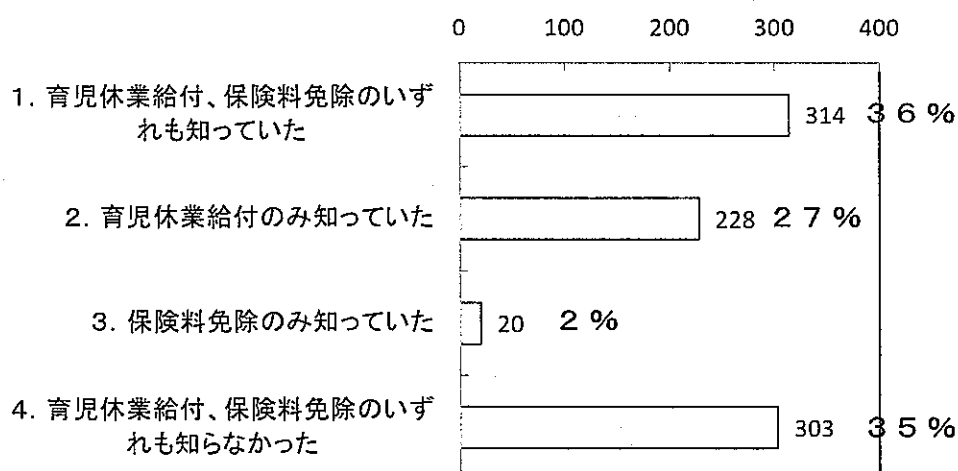
育児休業の取得では、父親の取得がほとんどなく、母親も「取得していない」と答えた人が203人いました。また、取得しない理由として、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が最も多くなっています。「仕事が忙しい」及び「経済的に苦しくなる」も多くの方が選択しています。





問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付及び健康保険等の保険料免除については、「いずれも知っている人」と「いずれも知らない人」が約35%いました。また、育児休業給付については、「知っている」人がいましたが、健康保険等の保険料の免除についてはあまり認知されていませんでした。

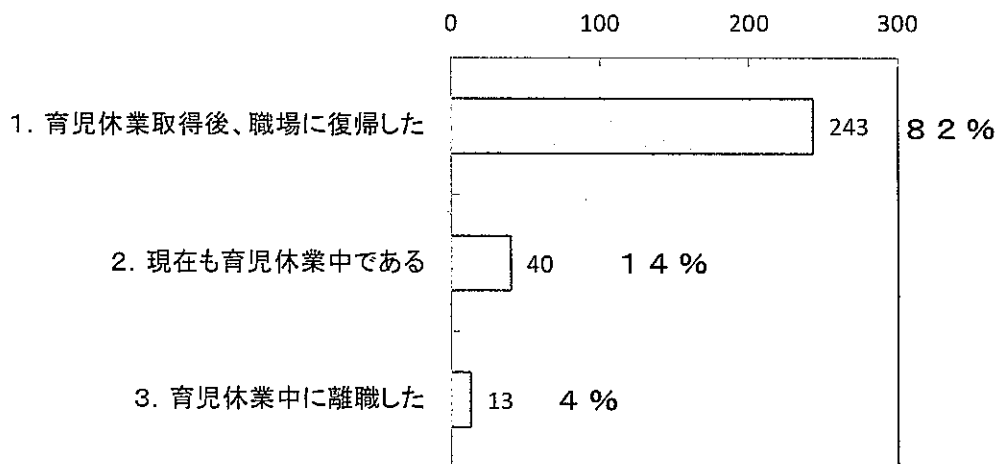


問30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

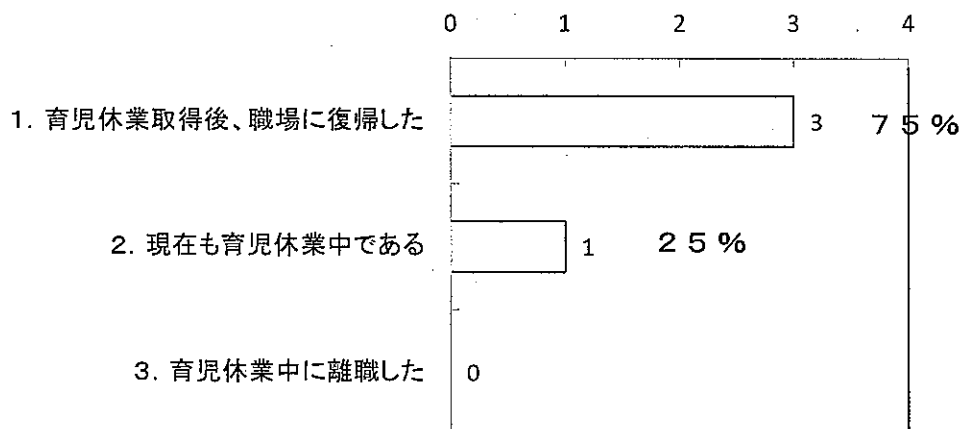
(1) 母親

職場に復帰した母親は、82%でした。離職した人も4%いました。



(2) 父親

職場に復帰した父親は、75%でした。



問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

年度初めの入所に
合わせた

タイミングだった 62人 24%	それ以外だった 196人 76%
------------------------	------------------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

年度初めの入所に合
わせた

タイミングだった 2人 33%	それ以外だった 4人 67%
-----------------------	----------------------

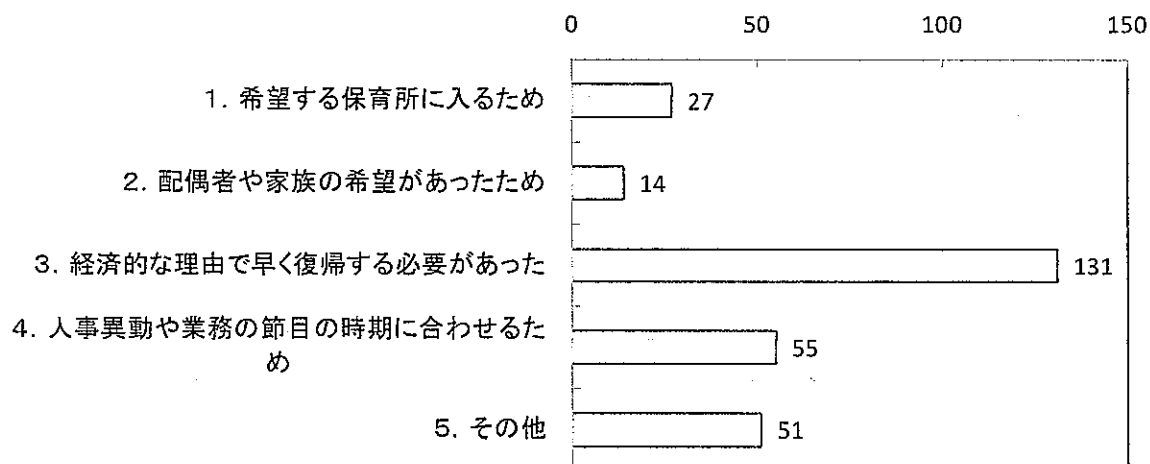
実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方

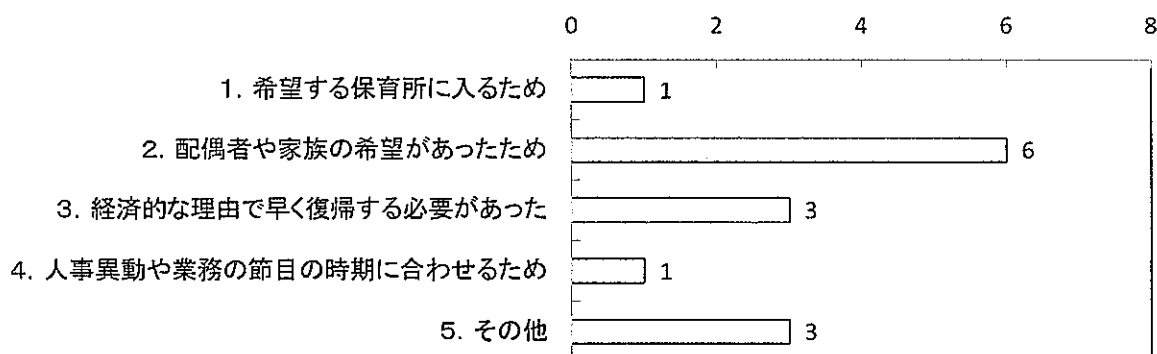
①母親

母親の場合、希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由」が一番となっています。父親の場合は、「配偶者や家族の希望」となっています。



②父親

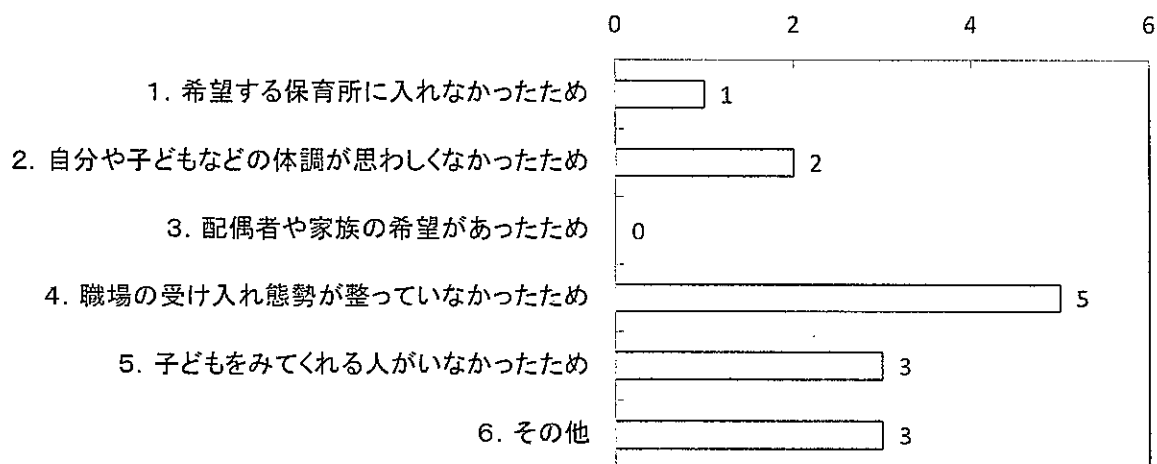
父親の場合は、「配偶者や家族の希望があったため」を選択している人が最も多いです。



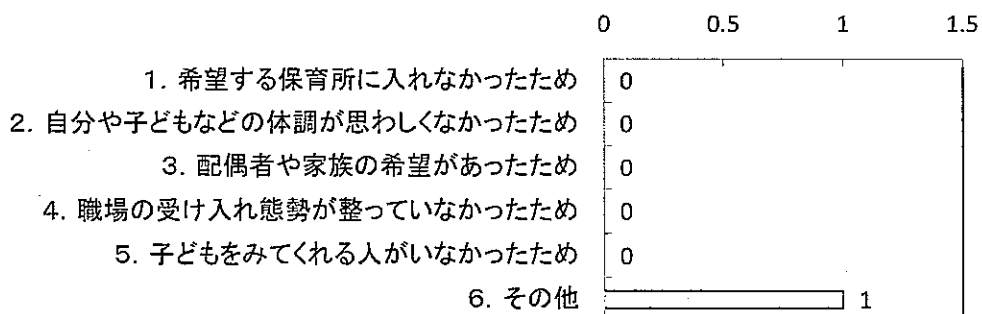
(2)「希望」より遅く復帰した方（複数回答）

①母親

希望より遅く復帰した人の理由は、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が最も多く、次いで「子どもを見てくれる人がいなかったため」となっています。



②父親

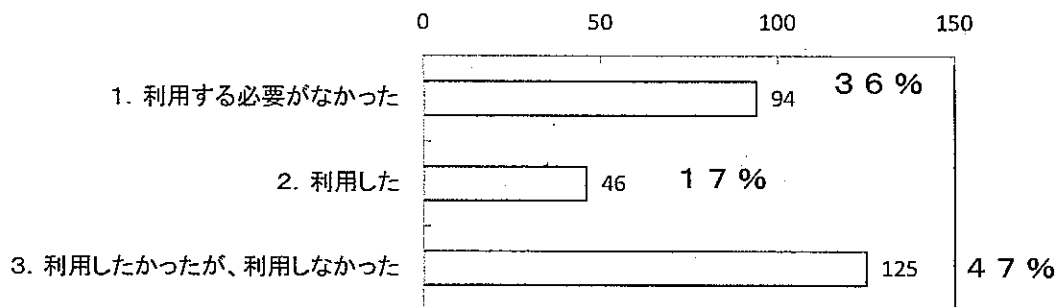


問 30-2 で「 1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

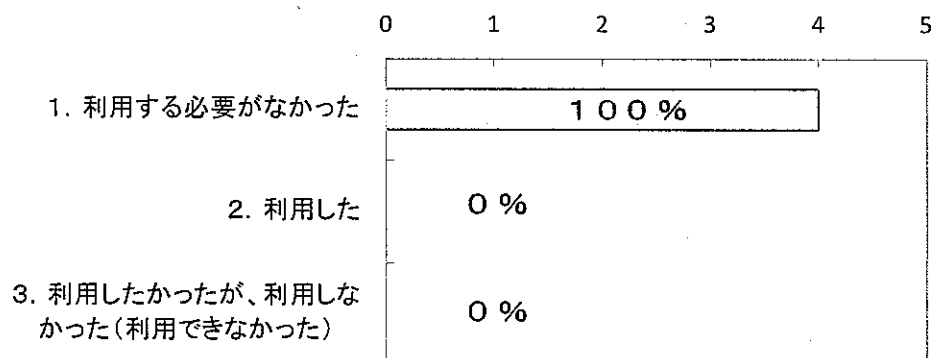
問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(1) 母親

「利用したかったが利用しなかった」が47%となっています。「利用した」は17%でした。



(2) 父親



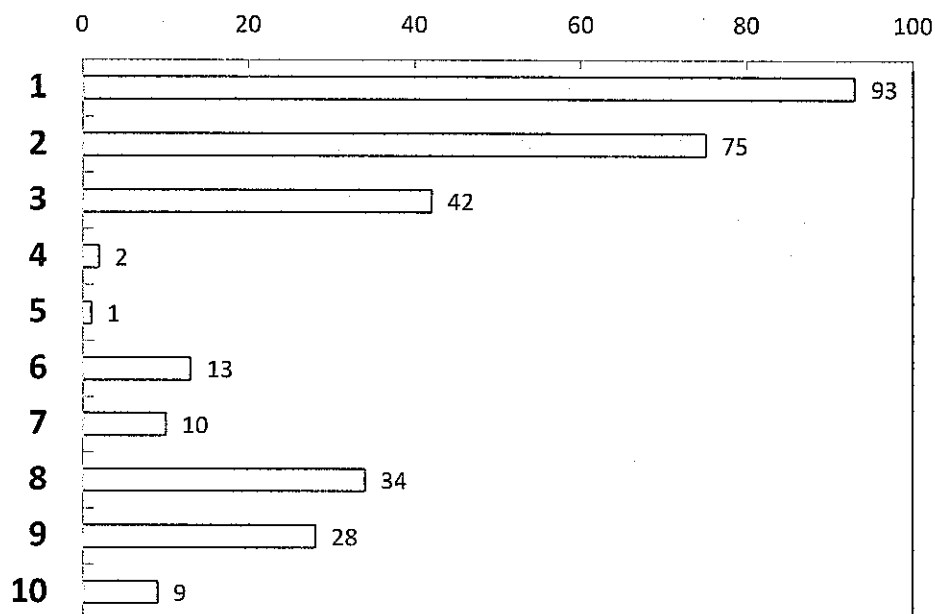
問30-7で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

(1) 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」となっています。

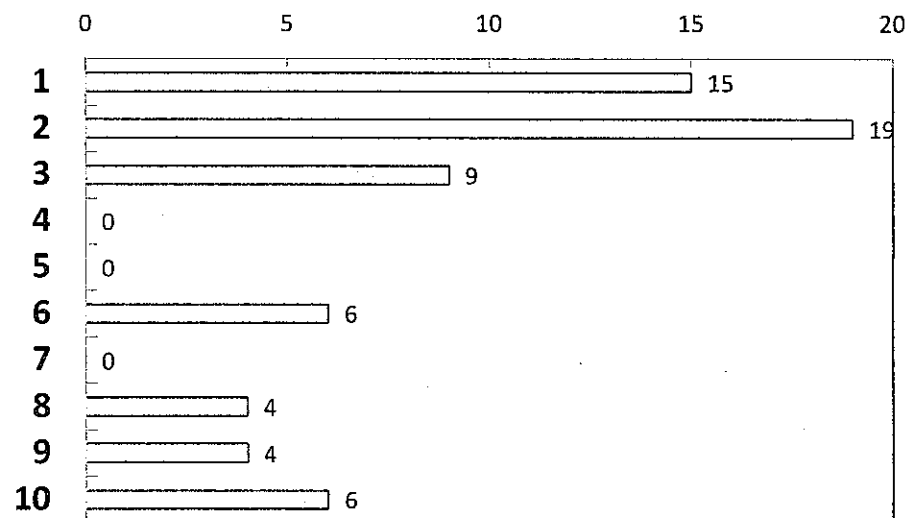
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()



(2) 父親

「仕事が忙しかった」が最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」となっています。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()



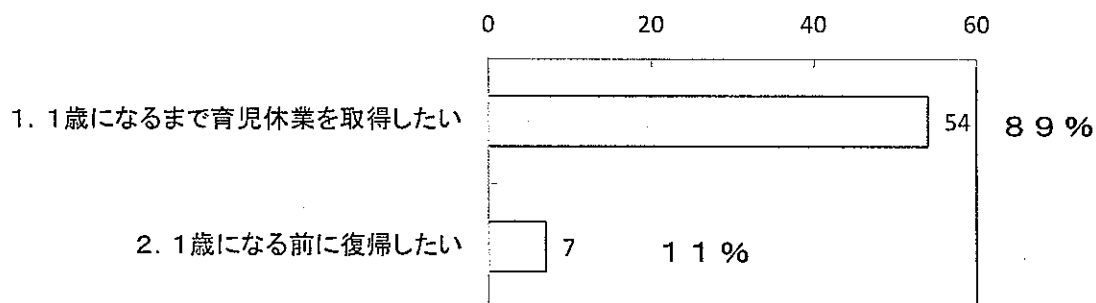
問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(1) 母親

89%の人が、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と答えています。

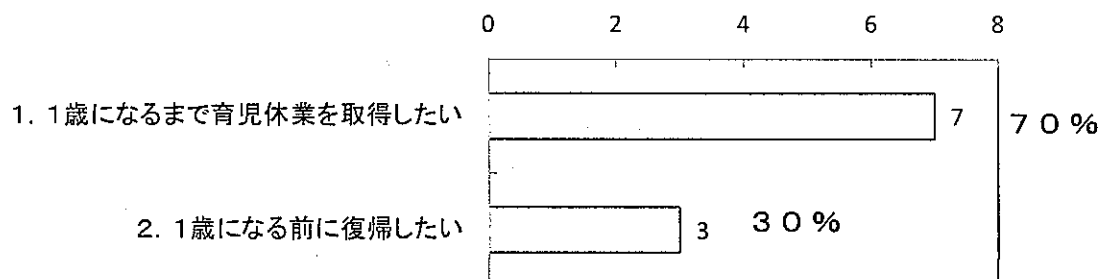
- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|



(2) 父親

70%の人が、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と答えています。

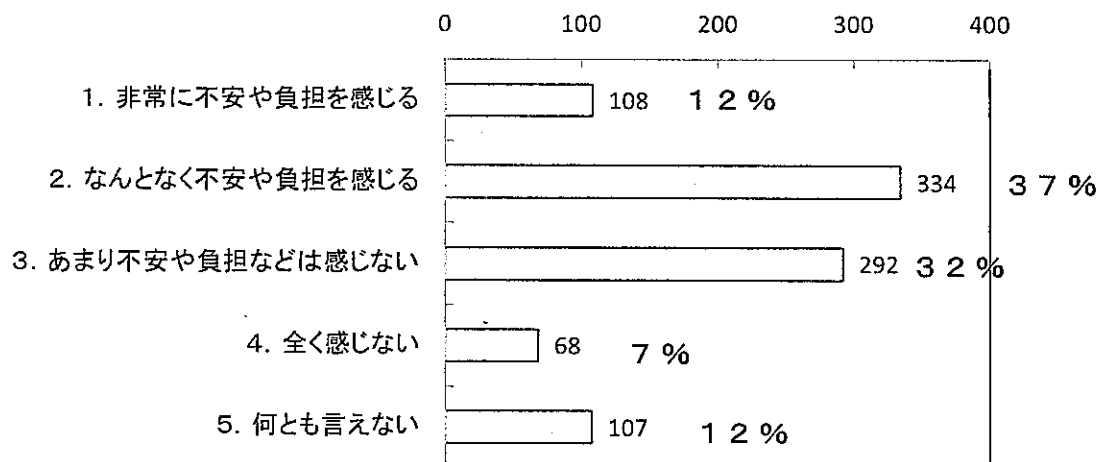
- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|



すべての方に、子育ての不安や悩みについてうかがいます。

問31 子育てに関して不安感や負担感などをお感じですか。

「非常に不安や負担を感じる」12%と「なんとなく不安や負担を感じる」37%を合わせると半数近くの方が不安や負担を感じています。

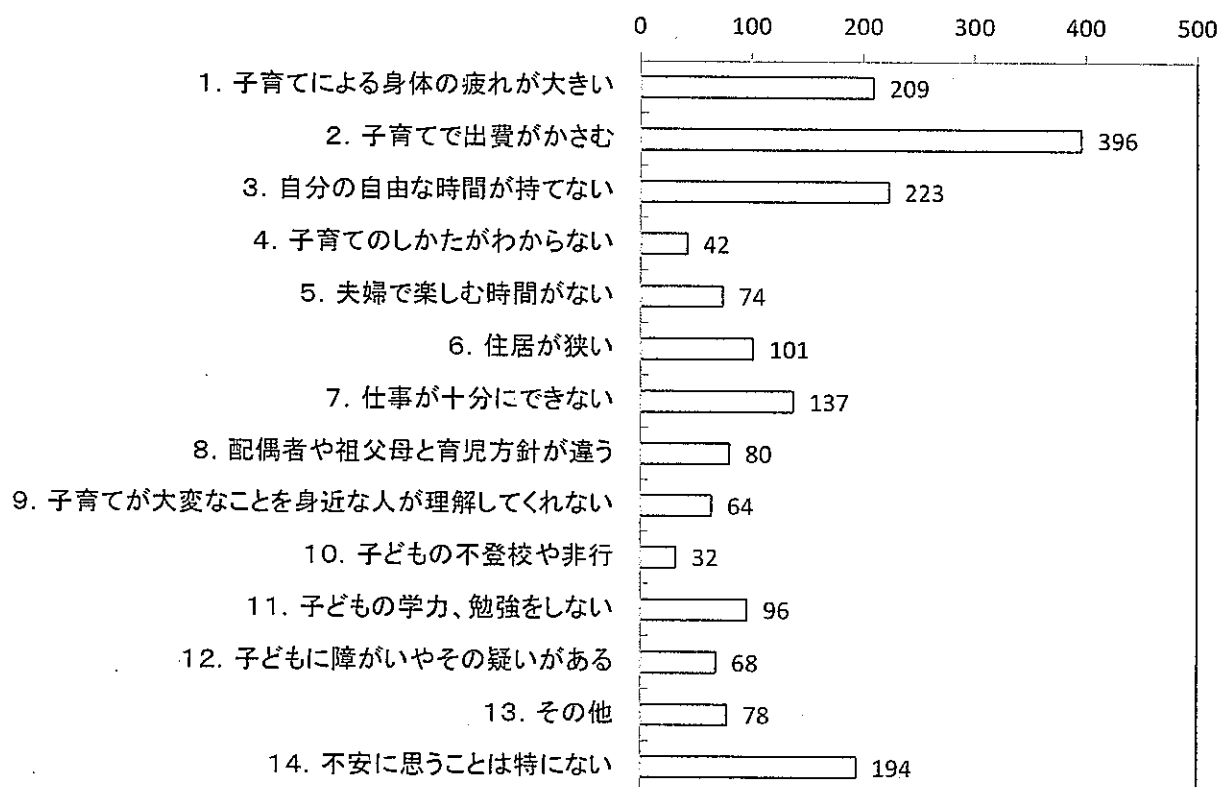


問 32 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどんなことですか。

(複数回答)

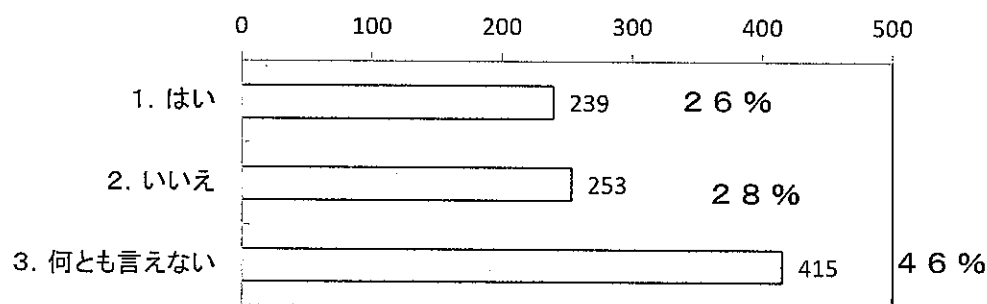
「子育てに出費がかさむ」を選んだ人が最も多くなっています。

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい | 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない | 4. 子育てのしかたがわからない |
| 5. 夫婦で楽しむ時間がない | 6. 住居が狭い |
| 7. 仕事が十分にできない | 8. 配偶者や祖父母と育児方針が違う |
| 9. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない(配偶者・祖父母・その他) | |
| 10. 子どもの不登校や非行 | 11. 子どもの学力、勉強をしない |
| 12. 子どもに障がいやその疑いがある(発達障がいを含む) | 13. その他() |
| 14. 不安に思うことは特にな | |



問 33 子育てに自信が持てないことがありますか。(○は1つ)

自信を持てない人が26%、「何とも言えない」を合わせると約70%になります。

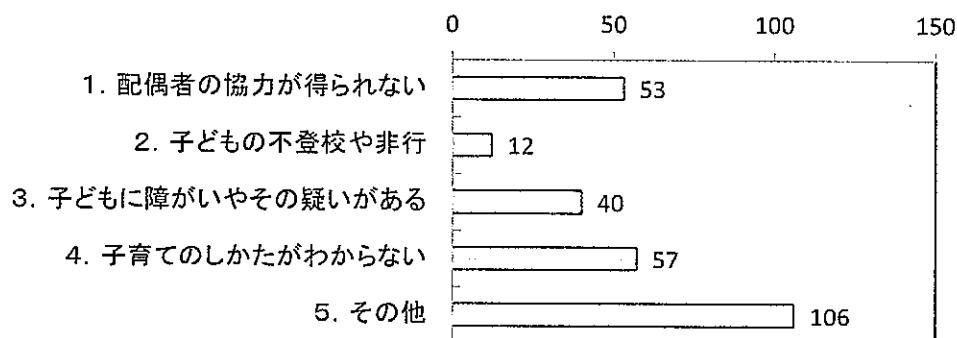


問 33 で「1. はい」と回答した方にその理由についてうかがいます。

問 33-1 子育てに自信が持てないことの理由はどんなことですか。

(複数回答) 「配偶者の協力が得られない」、「子育てのしかたがわからない」を選んだ人が多くなっています。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 配偶者の協力が得られない | 2. 子どもが不登校や非行 |
| 3. 子どもに障がいやその疑いがある
(発達障がいを含む) | 4. 子育てのしかたがわからない |
| 5. その他 () | |



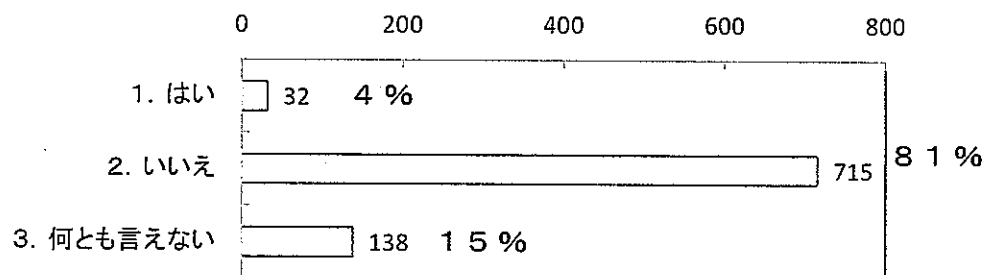
問 34 あなたは子どもを虐待しているのではないかと思いますか。

1. はい	2. いいえ	3. 何とも言えない
-------	--------	------------

※児童虐待には、次の種類があります。

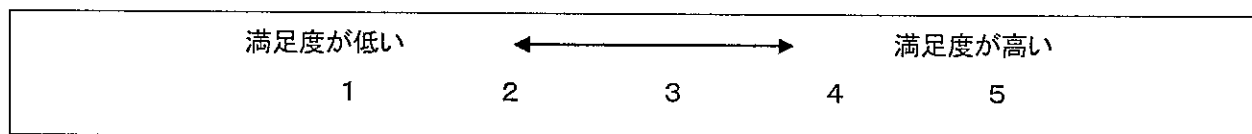
- 身体的虐待 殴る・蹴る・溺れさせる、首を絞める、タバコの火を押し付けるなど。
- 性的虐待 子どもへの性的行為の強要、ポルグラフィの被写体に子どもを強要するなど。
- ネグレクト 適切な食事を与えない、ひどく不潔なままにする、家に閉じ込めて長時間放置する、病気やケガをしても病院に連れて行かない、自動車内や家に置き去りにする、保護者以外の同居人が行う虐待行為を放置するなど。
- 心理的虐待 言葉によるおどし、脅迫、無視、きょうだい間の差別的な扱い、子どもの目の前でDV（ドメスティック・バイレンス）を行うなど。

81%の人は、「いいえ」を選択しています。「はい」、「何とも言えない」を合わせると19%になります。

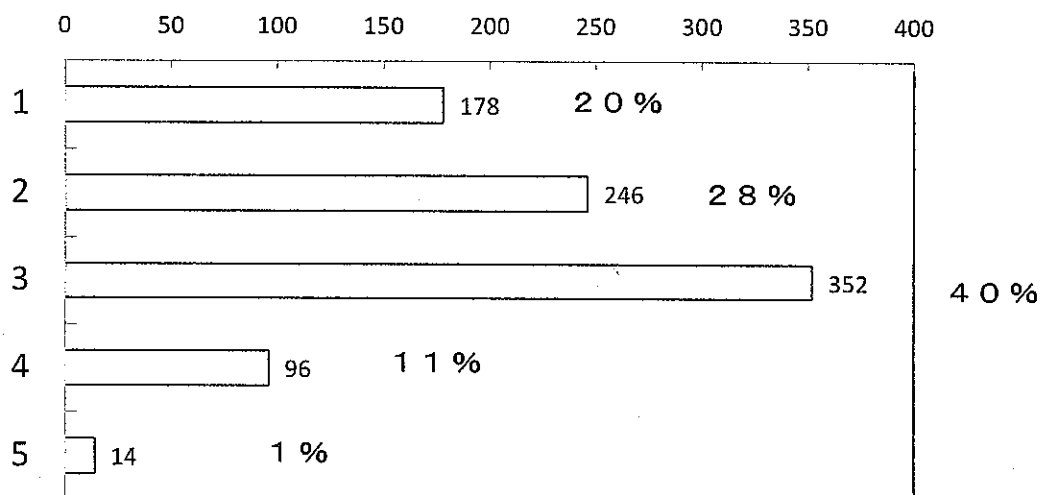


子育て支援対策の全般についてうかがいます。

問 35 人吉市における子育ての環境や支援への満足度



人吉市における子育ての環境や支援への満足度は、満足度が低いほうの1および2を選択した人が48%となっています。一方、満足度が高いほうの4および5を選択した人は12%となっています。



問 36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する自由意見

・ 遊具が豊富な公園があるといい。(坂本・多良木等)

・ 雨の日遊べる場があるといい。

・ 図書館に子どもを連れて行きやすくしてほしい。

・ おもちゃ図書館がほしい。

・ 児童館や放課後子ども教室があるといい。

・ スイスイやパステールのような施設の充実を望む。

・ 保育所に病児保育ができる場所を設けてほしい。

・ 同様保育が利用しづらい。祝日子どもを預かってほしい。

・ 交流の場を提供してほしい。

・ 出生届けの際に、メールアドレス等を登録し、子育て情報を発信してはどうか。